

Tochigi Architect Office Association Bulletin

2025
8
No.121



一般社団法人栃木県建築士事務所協会会報



建築士事務所憲章

建築士事務所は、建築や環境が文化の形成に占める重要な意味を認識し、社会の健全な進歩と発展に寄与します。

- 一 誠意をもって設計と監理の業務を遂行し、建築主の期待に応えます。
- 一 健康で快適な生活環境の創造と、安全安心、持続可能で良質な資産の形成を図ります。
- 一 自己研鑽を怠らず、職業倫理を高め、法令遵守と公益の立場に立って最善を尽します。
- 一 設計意図の理解を施工者に求め、公正に工事を監理します。
- 一 互いに信頼を深め、連帯の精神をもって、職務を全うします。

平成20年5月

一般社団法人 日本建築士事務所協会連合会
一般社団法人 栃木県建築士事務所協会



2025/8 No.121 目次

令和7年度定時総会(決算総会)開催される	3-4
組織	5
令和7年度 事務所協会ゴルフ大会・会員交流親睦会	6
創立70周年記念事業 2025年(第33回)AP展・(第6回)建築展 活動報告	7-12
私の建築史 No.4	13-18
株式会社創建設計 代表取締役 佐治 則昭	13-18
火災保険の水災リスク 宇都宮市<前橋市&水戸市? 有限会社日事連サービス 専務取締役 辻 哲朗	19
税務・会計 サポートガイド	20
税理士法人浜村会計 手塚 悟	20
コラム 日本の人口減少について	21-22
広報・渉外委員会 委員 中村 清隆	21-22
コラム あのクルマ	23-24
広報・渉外委員会 副委員長 鮎澤 浩	23-24
コラム ワイン・トピックス(4)	25-27
広報・渉外委員会 委員 新井 孝	25-27
コラム 鹿沼さつきマラソン大会30回連続出場達成	28
広報・渉外委員会 委員 水沼 孝明	28
釣り部通信 No.014 東京湾金アジ	29-30
釣り部 部長 桂 貴樹	29-30
新会員・新賛助会員の紹介	31
創立70周年記念式典開催予告	32
協会日誌 2025.4~2025.7	33-34
協会活動通信	35
お知らせ	36
支部活動報告	36
編集後記	36

表紙紹介

矢板市文化スポーツ複合施設



スポーツと健康を中心としたまちづくりへの取り組みの実現を目指し、AI(人工知能)、デジタル技術等による高付加価値サービスを提供する「未来体育館」とした。また、本施設を拠点にした地域づくり計画が評価され、スポーツ庁から「スポーツ・健康まちづくり優良自治体表彰」を受けている。

SDGs・Society5.0・カーボンニュートラル等の社会情勢を踏まえ、1次エネルギー年間使用量を54%削減して「ZEB Ready」の認証を取得した。また、共生社会に資する整備として、「視覚障害者用ランニングコース」を設置した。

外観は圧迫感を抑え、周辺環境と調和するよう、外壁は矢板市の象徴する「高原山」をイメージする藍色とした。

内外装に地場産の木材を積極的に使用し市民に長く愛される施設を目指した。

株式会社 フケタ設計 和氣 文輝

令和7年度定時総会(決算総会)開催される

令和7年5月20日(火)「宇都宮東武ホテルグランデ」において、令和7年度定時総会(決算総会)が開催されました。昨年度に引き続き、山崎良知会長の基で開催されました。

なお、提出された全議案については、原案どおり承認可決されました。



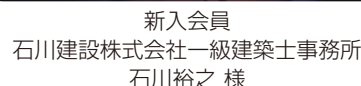
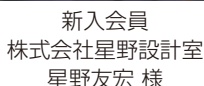
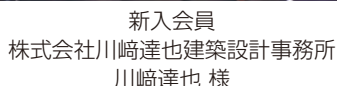
山崎良知 会長



栃木県土整備部建築指導課
課長 大森由香 様



栃木県議会副議長
琴寄昌男 様



- 令和6年度 建設事業関係功労者等国土交通大臣表彰受賞
君島 広之 副会長
(有限会社君島栄七建築設計事務所 代表取締役)
- 令和6年度 栃木県建設事業関係功労者等知事表彰受賞
菅又 守
(株式会社ドラフト 代表取締役)
- 令和6年度 年次功労者（日事連会長）表彰受賞
大島 茂光
(株式会社大島構造設計 取締役会長)

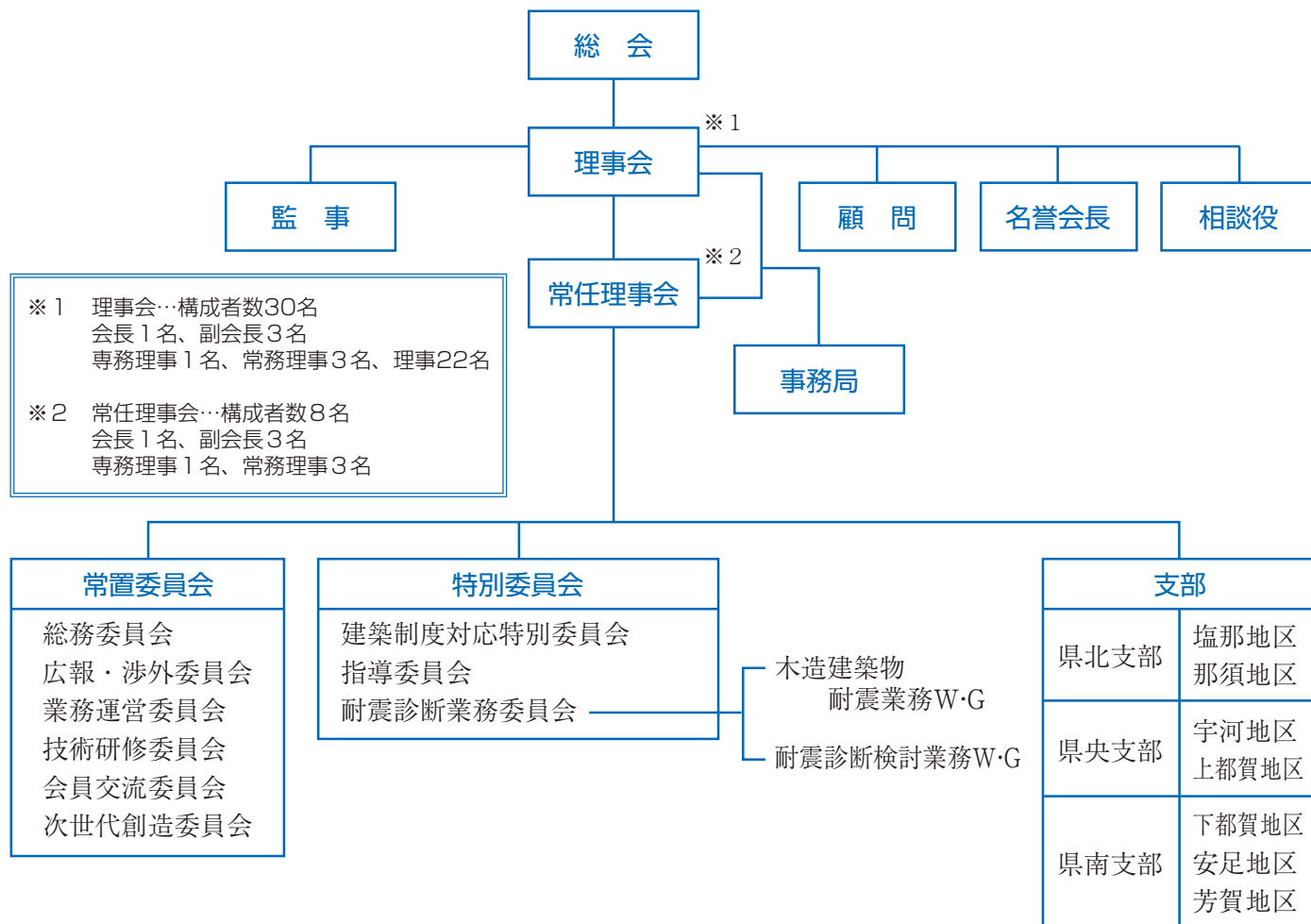
[illegible]

栃木建設新聞記事（2025.5.22）
（記事提供：日本工業経済新聞社）

組織

役職名	氏 名	事務所名	役職名	氏 名	事務所名
会 長	山崎 良知	(有)山崎企画設計	理 事	栗原 弘	(株)栗原弘建築設計事務所
副 会 長	本澤 崇	(株)本澤建築設計事務所	//	小西 勝	(株)アガ設計工業
//	渡邊 有規	(株)渡邊有規建築企画事務所	//	佐々木祥江	A I S 総合設計(株)
//	君島 広之	(有)君島榮七建築設計事務所	//	佐治 貴大	(株)創建設計
専務理事	鈴木 秀男	(一社)栃木県建築士事務所協会	//	竹石 昭厚	竹石建設(株)一級建築士事務所
常務理事	塩田 真吾	(株)シオダ建築デザイン事務所	//	竹内 康晃	(有)竹内建築設計事務所
//	酒井 誠	(株)酒井建築設計事務所	//	出口 哲史	(株)大森一級建築士事務所
//	安藤 篤史	(株)安藤設計	//	中村 清隆	(有)翔建築設計事務所
理 事	阿久津修平	(有)睦和建築設計事務所	//	半貫 正芳	(有)半貫建築設計事務所
//	阿久津信一	晋豊建設一級建築士事務所	//	三柴 富男	(株)フケタ設計
//	鮎澤 浩	(株)アユサワ設計	//	湯澤 敦史	ゆざわアーキデザイン(株)
//	新井 孝	(有)新井建築構造設計事務所	//	横松 邦明	(株)横松建築設計事務所
//	池澤 達夫	(株)池澤設計	//	渡辺 純一	丸山木工所建築士事務所
//	大高 宣光	(株)KENアソシエイト	//	渡邊 将宏	万建設一級建築士事務所
		一級建築士事務所	監 事	岡田 裕	(株)岡田建築設計事務所
//	桂 貴樹	一級建築士事務所 KATSU・LABO	//	田村 哲男	(株)田村忠設計事務所

一般社団法人栃木県建築士事務所協会 組織図



令和7年度 事務所協会ゴルフ大会・会員交流親睦会

轟 昂洋



ティーショット

このたびは、令和7年6月5日に新宇都宮カントリークラブで開催されました「栃木県建築士事務所協会親睦ゴルフ大会」におきまして、栄えある優勝という素晴らしい結果をいただくことができ、大変光栄に存じます。

本大会の開催にあたりご尽力いただいた栃木県建築士事務所協会の皆様、会員交流委員会の皆様におかれましては、大変お忙しい中、親睦ゴルフ大会の開催にご尽力いただき心より感謝申し上げます。当日は天候、同伴者にも恵まれ、素晴らしいコースコンディションの中でプレーを楽しむことができ、さらに多くの方々と交流を深める貴重な機会となりました。

今回はスコア93と、自己としても調子が良く、ハンデがうまくはまってくれたおかげで優勝することができました。この結果は、日頃よりご指導・ご支援を賜っている皆様のおかげであり、改めて深く感謝申し上げます。



記念撮影

今後もこの経験を励みに、業務の研鑽とともに、こうした親睦の場にも積極的に参加し、栃木県建築士事務所協会の一層の発展に寄与してまいりたいと存じます。誠にありがとうございました。



表彰式



乾杯

順位	氏名	会社名
優勝	轟 昂洋	日豊工業一級建築士事務所
準優勝	高橋 卓	(有) KANEHON
3位	佐々木隆道	(株)ダイキアクシス宇都宮営業所
会長賞	小島 健一	小松ウオール工業(株)
副会長賞	朝日 聡	(株) LIXIL
会員交流委員会賞	宇賀神勇人	宇賀神工業(株)

ご参加いただきました皆様、そして豪華な賞品をご提供くださった会員の皆様に、改めて厚く御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

創立70周年記念事業 2025年(第33回)AP展・(第6回)建築展 活動報告

広報・渉外委員会

委員長 栗原 弘

去る7月16日～17日、宇都宮市文化会館にて毎年恒例のAP展と建築展が同時開催されました。2日間で約450名もの方々にご来場いただき、盛況のうちに幕を閉じました。

また、16日には建築業界関係者向けの講演会を2部構成で開催し、約350名の来場者が熱心に耳を傾ける姿が見られました。行政および民間の講師による貴重な講演内容は、多くの参加者から高く評価されました。

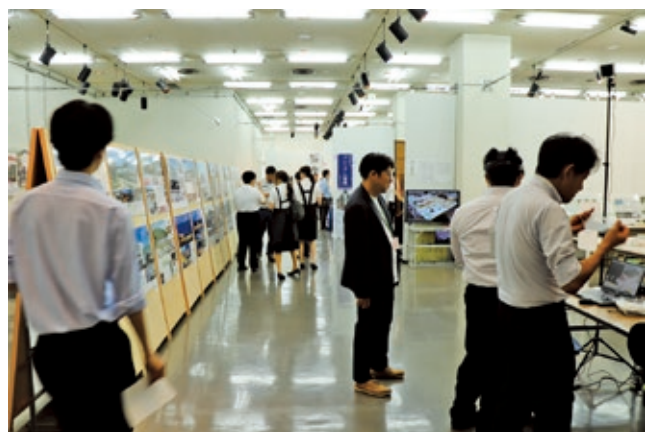
本イベントは、当協会創立70周年記念事業の一環として開催されたものであり、展示・講演ともに充実した内容となりました。建築業界の発展と情報共有の場として、大きな成果を収めることができました。



△会場エントランス



△会場風景



△会場風景



△講演会



△講演会



△講演会会場

●受賞者と作品名

○栃木県建築士事務所協会会長賞

【一般部門】

「真岡市複合交流拠点施設 monaca」(清水建設 + アール・アイ・エー + AIS 総合設計株式会社 JV)

真岡市複合交流拠点施設 monaca

建設主	真岡市長 石坂 真一
設計者	清水・アール・アイ・エー・AIS 共同企業体
施工者	清水建設 株式会社

【小規模部門】

「SANICHI コモンズ」(株式会社安藤設計)

建設主	学校法人 佐野日本大学学園
設計者	株式会社 安藤設計
施工者	達建建設株式会社

○日本工業経済新聞社長賞

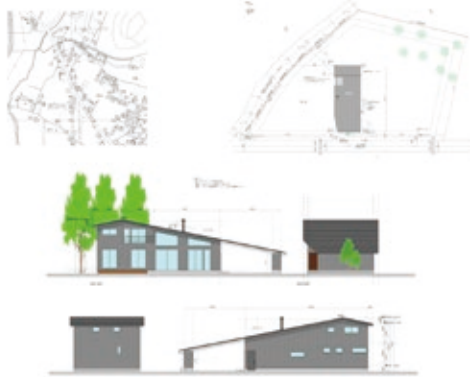
【一般部門】

「新里町・焼き杉の家」 (英昭建設株式会社一級建築士事務所)

新里町・焼き杉の家



林業の大切さに目覚めた地主が、雪害被害半壊で廃み。地元郡木で林業に熟練し、地元材に拘り、八里杉に拘り、屋上の倉庫で外壁は表面を焼くことで耐火性を持たせ、深い色合いでもお利に拘り、床面は木目の色には、あめ色材を使用した。家も無垢の杉材も使用した。建物すべて杉材を使用した。人と木と生活する空間を創造した。



建築主	荒井 瑞智
設計者	英昭建設株式会社一級建築士事務所 荒井 英雄
施工者	英昭建設株式会社

【学生部門】

「温故創新 移動式能舞台」 (栃木県立宇都宮工業高等学校・建築デザイン科)



○一般投票賞

【協会作品部門】

「上三川町 ORIGAMI プラザ」(株式会社フケタ設計)



【学生部門】

「結城紬と職場を紡ぐ未来」(小山工業高等専門学校・岩淵理央)





○建築展企業賞

【金賞】 植木鋼材株式会社

【銀賞】 日建工業株式会社

【銅賞】 エスケー化研株式会社

【ブービー賞】 福井コンピュータアーキテクト株式会社

○講演会内容

第1部 講演者代表挨拶

栃木県県土整備部	次長 星野 晃秀 様
最近の営繕行政について	
講師：栃木県県土整備部建築営繕課	課長 小又 一憲 様
最近の建築指導行政について	
講師：栃木県県土整備部建築指導課	課長 大森 由香 様
最近の住宅行政について	
講師：栃木県県土整備部住宅課	課長 三澤 隆裕 様

第2部 公共施設を“ともに守る”時代へ ―自治体と設計事務所が共創するFMのかたち―

講師：サウスフィールド・マネジメント株式会社

代表取締役 南野 稔 様



△受賞者記念撮影



来年もよろしくお願いします！

私の建築史

No.4

株式会社創建設計

代表取締役 佐治 則昭

— 船生での出生 —

私の建築史を語るには、時を明治まで遡る必要がある。

先祖は^{ろく}禄を失い、新潟から会津西街道を通過、私の生家である船生に辿り着いた。

明治初期、縁あって代々禄を^は食んだ会津藩方（新発田藩の130石）に仕えていた先祖は、戊辰戦争に参戦したが敗戦とともに職を失い、家族ばらばらになりながらも船生まで落ち延びてきたらしい。

旧士族ということで、船生の豪農の長屋門に仮住まいを得て、その家に世話になって生活していたようである。

時代が明治から大正、昭和へと移るにつれ、近代文明の波が船生近郊（現・日光市）にも押し寄せた。鉄道・ダム・発電事業・観光開発が目白押しで、土木建設関連事業が東武鉄道、古河鉱業、東京電力などの企業により次々と進められていった。そして大手建設会社の進出により、鬼怒川温泉の開発が始まることとなる。

この開発に伴い、大正初期に私の祖父・早瀬源一郎が^{とび}鳶^{どこう}の頭として、浅草の高橋組から鬼怒川温泉に着任する。源一郎は後に佐治家の長女と結婚し、「早瀬組」を興す。大手建設会社の下職として、家業を始めることになった。

私が4歳から7歳頃の記憶では、当時は建設現場に「^{はん}飯場」を設け、職人たちが寝泊まりしながら仕事をしていた。私は実家からその飯場に遊びに行き、何日か生活をしたことを今でも覚えている。

どの現場でも、コンクリート打設用のタワーブランチが組み立てられ、躯体工事が進んでいた。タワーの天辺から、半被

を着た鳶職の若衆が、大声で指示を飛ばしていた。仕事が一段落し、夕方になると、職人たちは酒を飲む前に銭湯に連れて行ってくれた。体に墨を入れた若衆は熱い湯が好きで、私は銭湯へ行くたび泣かされた記憶がある。

やがて、父（長男）が船生で「佐治」を名乗り、伯父（次男）が栃木市で「早瀬」を名乗って家業を継ぐことになった。私が船生中学校を終える頃、将来について家族で話し合うことが何度かあった。そんな折、親友の一人（東京本社の船生工場長の長男）が普通高校に進学すると聞き、私は父に内緒で彼と同じ高校を受験した。この会社は、戦中に疎開工場として船生に移り、地域に近代化をもたらしてくれた存在だった。テニス・スキー・ゴルフなど、それまでの船生には無かったものを経験させてくれた。彼は後に早稲田大学政経学部を経て、三菱銀行ロンドン支店に勤務し、勇退している。

一方の私はというと、父とは口も利けず、職人たちに合わせる顔もなく、悶々とした高校生活を送る日々だった。

当時の東京は学園紛争の真っ只中で、ビートルズやフォークソングが流行していた。そんな時代背景の中で、私もどこか体に染みついた職人氣質、あるいは血筋のようなものを感じていたのか、進学の日を選ぶ決意を固めた。理系へ進み、当時は高倍率であった建築学科を志望した。決断が遅かったので、案の定、東京六大学には歯が立たず、家庭の事情で浪人は許されなかったが、最後の砦として受けた日本大学工学部（福島県郡山市）に何とか滑り込むことができた。

昭和45年頃になると、父の家業も近代化（機械化）の時代に入り、職人の数も減少していった。鳶の仕事も、近隣の建設業者との付き合いが主となっていた。

私自身、学生生活費の工面が心配ではあったが、幸いにも郡山は東京の約1/3の費用で暮らせたことに、内心ほっ



幼少期



幼少時代の風景

としていた。

— 建築士を目指して —

このような幼少期を過ごした私は、初めてひとりで郡山にて学生生活を送ることとなった。

入学当時、日本大学工学部は学生運動の終末期にあり、学内にはまだ最後の闘争の名残があった。工学部はエンジニアの育成と、東北地方における工学教育の発展を目指しており、全国から個性豊かな学生たちが集まっていた。

私たち数人は、まるで中国・水滸伝の「梁山泊」^{りやうざんぱく}に集まる英傑^{えいけつ}たちのように、どこか半端者でありながらも個性的で、学生生活を謳歌し、世の中について論議を重ね、自分たちの将来の夢を熱く語り合っていた。

集まった仲間は、長兄（郡山安積高校卒～京都大学3浪、東大入試が中止された安田講堂事件の時代を経験）、次兄（九州大学2浪熊本県人吉錦町町長の長男）、北海道旭川出身の1浪苦学生、茨城県水海道の建設会社の長男坊、そして栃木県船生出身の私という、まさに荒くれ者の集団であった。

夜な夜な集まっては遅くまで酒を飲み交わし（酒は会津から樽で届けられた）、酒が尽きればその樽に水を注いでまで飲み干し、世情について語り合い、花を咲かせる毎日であった。

やがて学校にも慣れ始めると、私は学費や生活費の補助としてアルバイトを始めることにした。一般的な学生アルバイトという選択肢もあったが、私たちはより実践的な収入源として、水道会社への資材調達ビジネスに乗り出すことにした。これは長兄が地元人脈を活かして始めたもので、上水道資材（塩化ビニール管・鉄管など）を仕入れ、水道会社へ販売するという業務だった。資材は郡山駅で受け取り、現場ごとに仕分けして搬入していた。水道局には当時の大学OBが技師として設計監理をしており、地元水道会社からも非常に重宝されていた。忙しいながらもやりがいのある仕事で、学校の授業は午前中に受けられる者が受講し、資材の運搬には体育会系の学生たちを動員した。

授業のうち「教育課程」は、出席しなくてもある程度の成績が取れた。長兄などは、英語やドイツ語の授業に一切出席せず、講師から「80点以上取らないと単位は出せない」



学生時代（右から3番目が筆者）

と釘を刺されていたが、なんと試験では見事98点を取り、講師を驚かせたというエピソードもあった。とはいえ、専門課程となるとそう簡単にはいかなくなるもので、私たちは交代で実習・実験・卒業研究室に通い、日大土木科の恒例行事である磐梯山測量や阿武隈川測量なども、いわゆる「代返」で乗り切った。私は建築学科だったにもかかわらず、卒業時に教授から土木学科の学生と間違えられたほどである。

そんな時、事件が起きた。昭和47年、日本を襲った第一次オイルショックである。資材が不足し、郡山駅に届いたばかりの塩ビ管を、千葉県のクボタ鉄工から「返品してほしい」と連絡が入った。しかも、仕入れ値の数倍で買い戻すというのだ。この事態を関係者と調整して対処したが、もはやこの仕事はアルバイトの域を超えていた。私たちは法人格を取得し、会社設立をすることになる。以後、学生を続けながらも、外部役員・営業職・技術職を採用し、会社は水道資材・水道工事・建設事業を手がける総合企業として成長していった。数年後には従業員約80人、年商約80億円を誇る、福島県内屈指の水道・資材建設会社へと発展した。

卒業の際、研究室でお世話になった新田教授には、会社の顧問になっていただいた。私自身も公共工事における水道施設の現場技術者として、丸紅、日本水道、当社の3社による工区で仕事をした経験を活かして、栃木に戻った後も、役員として会社に関わり続けることとなる。

大学の建築学科には構造系の厳格な教授が多く、製図、実習、演習は特に厳しかった。私は構造研究室を選び、同僚には多大な迷惑をかけながらも、無事に卒業論文を完成

させ、卒業にこぎつけた。

その仲間たちとは今でも毎年顔を合わせている。彼らは大手建設会社の常務、部長、設計事務所の構造部長、教育者などとして活躍し、今では退職して悠々自適な年金生活を送っている。

一 建築士としての自立 一

大学卒業後、私は家庭の事情により、やむなく栃木へ戻ることとなった。同級生たちはすでに就職先を決め、それぞれ職に就いていたが、私は郡山の会社に籍を置いたまま、地元での就職先を探し始めた。設計事務所に進むと決め、まずは塩谷町・藤原町の学校建築を担当していた「^{ふけた}更田設計」の門をたたいた。これらの工事は鬼怒川建設が請け負い、父が薦土工として現場に入っていたという経緯もあった。しかし、その年はすでに新入社員が決まっており、「来春、また来てほしい」とのことであった。家路の途中、「近代総合建築事務所」の前を通りがかり、ふと立ち寄ったところ、「明日から来なさい！」と言ってきて、翌日には二升の酒を抱えて入社した。社長の中村氏は更田設計の出身で、大変面倒見の良い方であった。当時、県内の設計事務所は非常に多忙で、学校や古い公共施設の建て替えや、商業団地の移転、工業団地の新設など、公共事業が相次ぎ、事務所で毎晩深夜まで働いていた。私は船生からの通勤が困難だったため、会社のボイラー室に寝泊まりする生活を送っていた。新入社員でありながら、喜連川町や馬頭町の小学校改築など、実務を任されることになった。手書きの図面や構造計算書の作成には、先輩方の丁寧な指導があり、大いに助けられた。

2年の実務経験を得て、建築士試験を受験することになった。最初は「試しに受けてみよう」と、高校時代の同級生3人で受けたのだが、結果的に私だけがまぐれで合格することができた。

その後、長男である私は結婚を意識し、自らの生活の糧を得る必要があった。結婚相手は、同じ会社に勤めていた同僚だった。中村社長には、その後も公私にわたり大変お世話になることになる。社長は当時、(社)栃木県建築設計事務所協会(現：(一社)栃木県建築士事務所協会)の副会長も務めていた。

私は実家の船生に戻り、設計事務所を開設した。父の建設業との関係に加え、塩谷町が昭和50年に都市計画区域に指定されたことも追い風となり、設計の仕事が徐々に増えていった。

塩谷町は小さな町ではあったが、当時は木材製材所が十数社も存在し、船生は宇都宮大学の演習林、民有林、国有林に囲まれた林業地帯で、造林が盛んに行われていた。檜や杉は「^{やしゅうざい}野州材」と呼ばれ、県内でも有数の一大産地であった。

その影響もあり、職人の数も多く、町内外で活躍していた。彼らは高い技術を持ち、昔から農村地域では、化粧屋根の農家造りが主流で、豪農や造林家たちは競い合うように立派な住宅を建てていた。私は次第に、近代の生活様式に合わせ、木材の特性を活かすと近代数寄屋風の住宅こそがふさわしいのではないかと考えるようになった。そして、建築主・設計者・造林家・大工などが一体となって取り組む「野州風近代数寄屋住宅」を「野州の家」と名付け、設計・建築を行うようになった。この取り組みが縁となり、県林務



野州風近代数寄屋住宅「野州の家」



塩谷町立玉生保育所（認定しおやこども園）

部の県産材促進事業や高原材木材コンビナート構想などにも参画することとなった。住宅だけではなく、塩谷町保育園、森林組合事務所、もみじ谷大吊橋観光施設など、県産材を用いた大断面架構の公共建築の設計・監理も携わることができた。

また、栃木県の木材普及の一環として、私は流通の川下にいる建築士の立場から、県産材の活用促進にも関わった。東京大学にて、有馬孝禮教授の推奨する「エコマテリアルとしての木材」に関する講義・講習を1週間受講し、県内の木材関係者へその知識を伝えるなど、木材普及と啓蒙にも尽力した。

— 建築士としての耐震診断 —

栃木県は「栃木県土木史」（土木行政のあゆみ）を発刊しており、その記録の中の「第11編第3章」において、耐震診断および改修の推進が平成7年以降に始まったと記載されている（別添「栃木県土木史」より一部抜粋）。

私は（社）栃木県建築設計事務所協会の立場でこの業務に参画し、平成28年までその推進に携わった。

耐震診断の実務者として、また、判定委員会とのコーディネーター的な役割も担い、県や市町村との技術的協議や実務体制づくりにも関わりながら、県内での普及に務めた。

一方で、耐震診断に関わった宇都宮大学の田中淳夫教授（東大大学院・大成建設研究所出身、工学博士）は、日本を代表する鋼構造の権威者であり、豊富な現場経験も持つ方である。その田中教授の紹介で、鉄筋コンクリート造をはじめとした耐震診断指導を同門の田村正男先生にご担当いただき、栃木の構造設計者を導いて下さった。田村先生は、東大の「武藤研究室」出身の天才肌の実務者で、建築研究所時代の後輩たちとともに、全国的な耐震診断の推進に携わっていた。先生はご自身の研究歴を私たちに語ってくれることもあり、印象的だった。

【栃木県土木史】第11編第3章・第5節 「耐震診断・耐震改修の推進」より一部抜粋

この事態を受け、教育委員会施設課から日光高校他2校の耐震診断調査を急遽実施することとなった。

これらの業務は、（社）栃木県建築士事務所協会と特命により随意契約が結ばれ、判定会の設置等受け入れ体制の整備と並行して業務が進められることになった。

建築構造の第一人者である、宇都宮大学の田中淳夫教授の指導を受けることになり、教授の指導のもとに判定会等の設立に向けての準備が進められた。日光高校等の耐震診断は、判定会が設立前であったため田中教授に判定をお願いした。

耐震診断の結果、補強が必要となった場合、早急に予算化が図られ、耐震改修工事を実施することが重要であるため、調査委託には、補強改修基本計画の立案と概算工事費の算出を含めた。

日光高校北校舎、足利商業高校中校舎、烏山高校管理棟の診断は、いずれも補強が必要との結果になったため、平成8年度に耐震補強改修工事が実施された。

一方、事務所協会の体制づくりも順調に進み平成9年9月には、宇都宮大学工学部教授田中淳夫氏、足利工業大学助教授新藤忠徳氏、小山工業高等専門学校教授高橋純一氏の3氏をメンバーとする「耐震診断・補強計画判定会」が設立された。

また、鉄筋コンクリート造の耐震診断業務に詳しい千葉大学講師の田村正男氏を顧問として、実務面の指導を受けることになった。

これにより、本県の耐震診断業務は田中先生の指導の基に統一したやり方が確立し、後他県からは「栃木方式」と呼ばれるようになる。

平成8年度には、学校校舎26棟、行政庁舎9棟の耐震診断調査業務が、平成9年度以降も計画的に実施される予定であり、技術者の養成の点においても一定の成果が得られるものと期待されている。



家庭の事情で「東大進学まで」と母親から懇願され、大学院には進まず、高収入が見込める海外のプラント事業会社を選んだ。「武藤研究室」を首席で卒業したそうだが、「自分は研究者より現場の方が向いていた」と語り、大変な酒豪でもあった。飲み明かしながら論議した翌朝でも、会議前には耐震判定用の事前審査レポートがすべて完璧にチェック済みという徹底ぶりに何度も驚かされたものだ。後の私たち判定検討委員会のメンバーは、田村先生の事前審査によって鍛えられ、大変勉強させていただいた。後日談ではあるが、他県では田村先生のような厳格な審査に対



高齢者等複合型施設「逢座」



特別養護老人ホーム「牧場の朝」

応できず、指導に追従できなかった県がいくつかあったそうである。また、先生は学会で推進された第3次耐震診断法の支持者であり、(一社)日本防災協会が推奨する第2次診断法に対して、栃木県独自の判定方式を模索した結果、「新2次診断方式」を開発し、田中教授が委員長を務め、同協会からも正式に承認された。これが、いわゆる「栃木方式」である。

田村先生は大学院を卒業していなかったため、宇大・田中研究室から論文を執筆し、工学博士号を取得された。テーマは「日本の耐震業務の実態」だったと記憶している。私たちも、ほんの少しはその論文執筆に恩返しできたのではないかと考えている。

やがて耐震診断業務も10年を超える頃には、公共建築物、商業施設、工場などの構造体に関しては、私たち検討委員会のメンバーで事前チェックが可能となり、先生からその役割を引き継ぐこととなった。

私にとって忘れがたい業務の一つが、旧県庁舎(庁舎本館・議会棟・別館)の調査・診断業務である。これも「栃木県土木史」の歴史に刻まれている。この調査は、技術センターの理事長・土木部長・建築課長(いずれも栃木桜工会の先輩方)の企画による、県庁建替えに向けた前哨調査業務であった。旧県庁舎は、名だたる建築家・佐藤武夫先生および木村俊彦先生によって設計されたもので、建物の歴史的価値から保存運動も起こっていた。特に議会棟は日本建築

学会賞を受賞した名建築であり、解体には多くの人が躊躇していたが、保存していくためには構造的・耐震的に「NG」と判断される建築物であった。当時まだご健在だった設計者ご本人にも、保存運動を説明し、快くご理解をいただいた。歴史ある建築物を現行基準で診断し、改修の可否を判断することは、大変責任の重い仕事だった。しかし私は、それを田中教授や田村先生の「現場主義」、そして“ものづくり”への真摯な姿勢から、建築技術とは何かを学んだように思う。

近年の建築技術や研究開発にとって、机上論的な法律改正や建築基準の改正が先行してしまい、日本古来の建築技能や“ものづくり”の現場を軽視する傾向があるように思えてしまう。これでは、建築技術者や日本文化の職能が衰退していく恐れがあるような気がしてならない。私が教えを受けてきた先生方や先輩方は、皆それぞれ貴重な経験を積み重ねた実践者であり、技術的な「塩梅^{あんばい}」を心得て建築を愛し、現場に向き合ってきたと今でも思う。彼らは決して、自然環境と闘うようにして建築を作っていたわけではない。私も、技術の未熟さや人生の紆余曲折を経て、幼い頃に夢を見た“職能人”になろうといまだ夢の途中にいる。

最近では時の流れを感じながら、長年連れ添った妻と旅行を楽しんだり、実家の畑を耕す時間も持てるようになった。また、大学時代に起業した会社の関連事業にも関わり、建築士として福祉施設や東北の被災施設の改修設計などにも携わることができた。

当時から、その会社を束



現在の写真

ねていた会長である長兄も健在である。私たち兄弟の合言葉はいつもこうだった。

「人生意気に感ず、功名誰かまた論ぜん！」

最後に、長兄のことを記した福島民報の元記者による随筆記事を紹介して、私の建築史の締めくくりとしたい。

足長おじさんは力持ち

小林 富久壽

令和の「足長おじさん」は紺の着流しだった。シックな模様入りの帯。紺の足袋に木目の桐下駄。和服のモデルのようだった。70代半ば。いぶし銀の美しさを漂わせていた。「おじさん」に母子家庭の母子、施設の子供らから感謝の手紙が次々に届く。「コロナの状況の中、みんなが苦しい中、本当に本当に助けていただいて感謝の気持ちでいっぱいです……。長い春休みとなった3月、入学式を終えて少ししてからまた休校と家に子供たちがいる時間も増え、電気代、食費もかさみ、みるみるうちに通帳の残高も500円となっていました」「アシナガオジサン様にいただいたご寄付で子供たちからあげを作ってあげました。いつもは小さく切ってあげたものを1人4個と個数を限定して出したのですが今回は制限しないで食べさせることができました。久しぶりにいっぱいお肉を食べて、3人とも笑顔の食卓となりました」（中略）

子供らからの手紙は“宝物”として大切に保存して置く。読んでいる内に何度も何度も詰まり、声が出なくなった。足長おじさんは泣き虫でもあった。1家族5万円。年4回送る。対象は母子家庭、養護施設などの子供たちだ。施設の子供は飛行機旅行にも招く。奨学金も贈った。母子家庭に1トンの米も配った。命の救済は合わせて年間数千万円に上る。新聞、テレビ、雑誌には一切、知らせない。「陰で行くことに意味がある」「御陰様で」の「御陰」は神仏のご加護を受けることへの感謝を意味すると語る。小学3年生ごろから司馬遷の史記を読んだ。長ずるにつれ全130巻を読破した。座右の書になった。会津武士の血を引く。（中略）

幼少期から異彩を放った。ガキ大将だった。小学、中学、高校、大学と“子分”の数は増えていった。社会に出てから会社化した。荒くれ、半端、短気、はみ出し…。そんな若者も少なくなかった。それだけに義理人情、約束、誠意

は大事にした。（中略）

現在、広告賞伝、土木建築、産廃中間処理施設、特養、観光牧場、不動産などの会社に関わっている。経営は“子分”に任せていると言う。政治、行政との距離は近く、深い。本物の任侠との関係も覗く。中央政界の暗闘、特に自民党各派閥の動き、新しい疑獄の芽、官僚の対応などが飛び込む。多くが報道より速い“特ダネ”だ。記憶力は半端ではない。主要官僚の名前、生年、大学、出身地、過去のポストなどが頭に詰まっている。相談された“事件、仕事”は20年、30年前の件さえ淀みなく話す。好きな歴史を語る時は愛唱歌を唄うようだ。有名な合戦、武将はもとより宗教、刀剣、陶器、茶道など個々の文化にも及ぶ。20歳前の多感な時期に京都で運命的邂逅をした。4年間、京都に滞在した時のことだった。疲れると独り、古刹大徳寺境内にある高桐院にたずんだ。細川忠興公とガラシャ夫人の墓、利休の天下一の石灯籠、古寺の雰囲気に入るのが好きだった。（中略）

師走のある夕、青年はそんな感慨に耽りながら小一時間もいたろうか。ふっと顔を向けると小柄な老僧がお付きの者に手を取られ、青年を見詰めていた。「何故、そこにいるのか」「蹲踞が好きだからです」「どこから来た」「会津です」「私の師は天田愚庵だ」と話し、一室に通された。愚庵が会津とゆかりがあったこともあり、老僧は興が乗った。2時間ほど話し込んだら。別れ際、老僧は茶杓を2本出し、「1本選びなさい」と言った。好みの方を下さるという。片方は形は流れるようで美しい。もう1本は斑入りで左からの角度に少々難があった。青年は臆面もなく言った。

「斑入りの方が好きだが左側の姿が気に入らない」「じゃあ、それにしなさい。満は欠を招き、損は益を受くる。少々欠点の人が物にも景色になって良いものだ」

老僧は80過ぎで大徳寺の五百十世の義山良忠師だった。田舎出の若造に分かるはずもなかった。あの日から60年近く経った。亡き母が愛用した件の茶杓の箱をこの弥生に開けて見た。難点の角度がなだらかな美しさに変わり、奥深さを増していた。人も物も本物になるには長い時を要す。名僧から直々に託された青年は――。数々の修羅場も潜って来た。表情に一点の陰も曇りもない。魂友、悦材、高官、賢者が人脈をなす。人生は佳境を迎えた。

（福島民報社元記者）

※一部の表現は、現在とは異なる語感を持つ場合がありますが、当時の語り口を尊重し、原文のまま掲載しています。

火災保険の水災リスク 宇都宮市<前橋市&水戸市？

有限会社 日事連サービス

専務取締役 **辻 哲 朗**

1. 損害保険料の仕組み

自動車損害賠償責任保険（自賠責）の保険料が、2021年度に1割ほど引き下げられました。新型コロナウィルス禍による外出自粛で交通事故が減り、保険金の支払いが抑えられたことが要因のひとつでした。反面、本年10月から大手損害保険会社が自動車保険料を値上げする予定です。値上げ幅が平均5%以上となり、修理費の高騰や自然災害の増加、物価高による保険金支払い増加などが理由として挙げられています。

このように、損害保険の商品は加入者が支払う保険料と、保険会社が支払う保険金のバランス（損害率）で保険料が決まります。環境の変化や新しい機器の登場で、支払保険金が大きく変動し、その結果、保険料が改定され保険料が高くなったり、新しい補償をカバーするための特約が開発されることになります。

2. 2024年10月火災保険の改定

2024年10月以降、多くの損害保険会社で（以下「損保会社」）火災保険料の改定が行われました。台風や水害等相次ぐ自然災害（除く地震災害）で保険金支払いが急増していることや、資材価格や人件費の上昇による修理費高騰を反映した形で、引き上げは直近6年間で4度目となり、引き上げ幅は過去最大でした。また、今回の改定では、火災保険の補償のひとつである「水災補償」で、地域ごとの水災リスクに応じた保険料率が設定されました。主な改定内容は、以下の通りです。

(1) 火災保険料率の見直し

今回の改定は、各損保会社が火災保険料率を決める時に参照する火災保険の参考純率が、全国平均で過去最大となる13%の引上げとなったことを受けて行われています。参考純率とは、業界団体である損害保険料率算出機構が提供している料率のことで、各損保会社は参考純率を元に独自に火災保険料を決定します。

(2) 地域の水災リスクに応じて水災料率を5区分に細分化

水災に関する料率を、地域毎の水災リスクに応じて細分

化しました。水災リスクの保険料率が、市町村単位で設定され、リスクが最も低い1等地から最も高い5等地までの5区分に細分化されました。細分化しなかった場合の保険料率と比較すると、1等地は約6%低く、5等地は約9%高くなり、その較差は約1.2倍となります。水災等地の設定にあたっては、外水氾濫だけでなく、内水氾濫や土砂災害等の水災リスクも含めて評価しているため、洪水ハザードマップ等の一般のリスク情報とは、必ずしも一致しません。

なお、地域毎の水災リスクは、損害保険料算出機構の水災等地検索 (<https://www.giroj.or.jp/ratemaking/fire/touchi/>) で調べることができます。

3. 水災リスクに対する意識の向上

今回の改定、特に水災料率の細分化により水害や台風等の水災リスクに関して、消費者のさらなる意識向上が予想されます。上記の水災等地検索によれば、例えば、宇都宮市の水災リスクは1等地となっています。一方、北関東の主要都市である群馬県前橋市や茨城県水戸市は2等地となり、宇都宮市は前橋市や水戸市より水災リスクに関する保険料率が低い、ということになります。

ご存知のように、建物を建てようとしている土地がどのような特性を持つのかを知るためには、各都道府県や各自治体等が提供している浸水想定区域図や洪水ハザードマップ、浸水実績図、治水地形分布図等で確認することができます。このように、水害に関する情報はインターネットをはじめ様々な形で公表されており、災害が起きた場合に設計者が知らなかった、何も提案がなかった、では済まされない状況となっています。

また、水害は、発生する場所や時期などがある程度予測できるため、様々な災害の中でも比較的対策を講じやすい災害と言われています。建物を建てようとするエリアが水害の恐れがある場所であれば、基礎の高さを高くしたり、防水性の高い建材を使用したり、浸水時に避難経路を確保するなど、リスクを軽減するためのしっかりとした対策を躊躇せず講じておく必要があるのではないのでしょうか。



税務・会計サポートガイド

税理士法人浜村会計
手塚 悟

本年より貴会の税務顧問をさせていただいております、税理士法人浜村会計の手塚悟と申します。税務・会計の面で皆様のお役に立てるような記事を、わかりやすくご紹介させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

テーマ①：そもそも「103万円の壁」って何？

令和7年度税制改正において、話題となっている「年収103万円の壁」の見直し。「103万円」とは、基礎控除額48万円と、給与所得控除の最低保障額55万円を合わせた合計の金額で、所得税が非課税となる範囲をいいます。このことから、「103万円」という金額が1つの区切り（壁）のように強調され、その結果、この金額を目安として就業調整をする人も少なくありませんでした。

「令和7年度税制改正の大綱」（令和6年12月27日閣議決定）によれば、基礎控除額が58万円に、給与所得控除の最低保障額が65万円に引き上げられます。これにより、一部の人を除き所得税が減税となります。特に、これまで「103万円以内」を意識して就業調整をしていた人は、所得税の非課税の範囲が123万円まで拡大することで、働き方が変化することになります。

「103万円の壁」の見直しによって、所得税の課税対象外となる人が増えれば、源泉徴収の対象者が減少します。また、扶養控除の合計所得金額要件も見直されることになります。給与計算システムの活用等、柔軟な対応ができるように今から準備しておきましょう。

テーマ②：「自己資本」を意識して会社を変えよう

貸借対照表（B/S）の「純資産の部」は、普段の経営であまり意識することは少ないかもしれませんが、会社の健全性・安定性が分かるため定期的な確認が必要です。

B/Sの「純資産の部」には、「創業から今までの、会社のあゆみ」が数字として表れています。いわば会社の「年輪」のようなもの。その積み重ねた年輪が、「自己資本」です。自己資本は、同じ貸方の「負債の部」で示されている他人資本（借入金等）とは異なり、返済が不要な資金で、主に「資本金」と「利益剰余金」とで構成されます。

- **資本金**：会社の資産の基礎となるものです。会社を設立した時の、株主による金銭出資と現物出資で構成されます。

- **利益剰余金**：創業から現在までの「税引後の当期利益」の累計額を表します。「その会社の利益を稼ぎ出す力の累積」と見ることもできます。

総資本に占める自己資本の割合を示したものが「自己資本比率」です。自己資本比率が高いことは、他人資本（借入金等）に頼らずに事業を運営できていることを表します。予期せぬ経営環境の変化にも対応できることから、突然の倒産リスクもぐっと低くなります。また、生み出した利益（資金）を設備投資など、新たなチャレンジに活用することも可能です。

中小企業の場合、自己資本比率を高めていくには、黒字決算を実現し、税金を納めて、利益剰余金を積み上げていくこと——が王道です。

テーマ③：2026年に紙の約束手形の利用が廃止されます。進めましょう！決済手段のデジタル化

決済手段の1つである、紙の約束手形。約束手形を振り出して支払う側の企業（支払企業）にとっては、①現金での支払日を延ばせるため資金繰りに余裕ができる②金利が発生しないためコストが削減できる——といったメリットがあります。一方で、約束手形を受け取る側の企業（受取企業）にとっては、その裏返し。また、多くの場合、支払企業は仕事を発注する側であり、受取企業は仕事を受注する側＝下請の立場にあります。こうした取引上の立場の違いもあり、紙の約束手形による支払いは、受取企業が資金繰りに苦しむ要因の1つとなっていました。そこで政府は、「2026年をめどに、紙の約束手形の利用を廃止する」との方針を打ち出し、これを受けて産業界・金融界では、その実現に向けた取り組みが進められています。

現在、支払手段の1つとして紙の約束手形を利用している企業は、2026年までに、①現金による支払い（原則／インターネットバンキングによる銀行振込を含む）②電子記録債権（でんさい）による支払い——のいずれかの支払手段に切り替える必要があります。

また、2024年11月以降、下請法（下請代金支払遅延等防止法）の運用ルールが変更され、交付から満期日までの期間が60日を超える約束手形等による支払いは、業種を問わず行政指導の対象となりました。決済手段のデジタル化とともに、支払サイトの短縮が必要な場合は、新たに生じる運転資金の調達方法も考慮しましょう。

コラム

日本の人口減少について

広報・渉外委員会 委員 中村 清隆

日光市で2市2町1村が合併したのは2006年3月。日本の人口がピーク時のころだった。当時私は建築士会今市支部の支部長を務めていた。合併した日光市の都市計画を協議する委員会でのこと。都市計画課のT係長から配布されたたたき台の計画書には、合併した日光市を網の目のように結ぶ道路網が描かれてあった。私は手を挙げて発言した。「こんなに道路を作って良いのか。50年後の日光市の人口がどうなっているかを調べてから、将来の都市計画を検討するべきではないのか?」と、提案した。T係長は、50年後は難しいが20年後であればかなり正確な予想が可能とし、約束通り、次の委員会で日光市の20年後の人口を提示した。参加者は皆息を飲んだ。合併時9万5千人の人口が、20年後7万人に!このことは市議会でも取り上げられ、新聞にも掲載された。あれから20年近くが経過したが、予測は現実のものとなった。

(表1)は、国土交通省がネットで公開している資料である。(国土審議会:「国土の長期展望」中間とりまとめ-国土交通省)

明治維新時の人口は3,330万人。77年後の終戦時で7,199万人。さらに63年後の2008年ピーク時で12,808万人に激増する。それから逆に同じような放物線を描いて激減して、2100年には5,972万人になると予測されている。

明治維新時の日本は、世界的に見て人口の少ない小さな国だったかというそうでもない。(表2参照)アメリカ、イギリスよりも多く、フランス、ドイツ、ロシアと肩を並べていた。日本は、人口面では欧州列強と并列の大国だったのだ。意外なことだが、ペリーが日本に來航して開国を迫ってきたアメリカは、当時は日本よりも人口が少なかったのである。

その後、日本の人口だけではなく世界人口は爆発的に増加していく。JC(日本青年会議所)の機関誌は、1964創刊時「30億」という名称だった。それが1981年には「50億」、1999年には「We Believe」へと変更された。世界人口増大に、雑誌の名称が追いつけなくなったのだろう。現在2025年の世界人口は82億3千万人である。2080年頃には、100億人を超え

表1 日本の総人口は2050年には約1億人へ減少

○ 日本の総人口は、2008年をピークに減少傾向にあり、2050年には約1億人にまで減少する見込み。

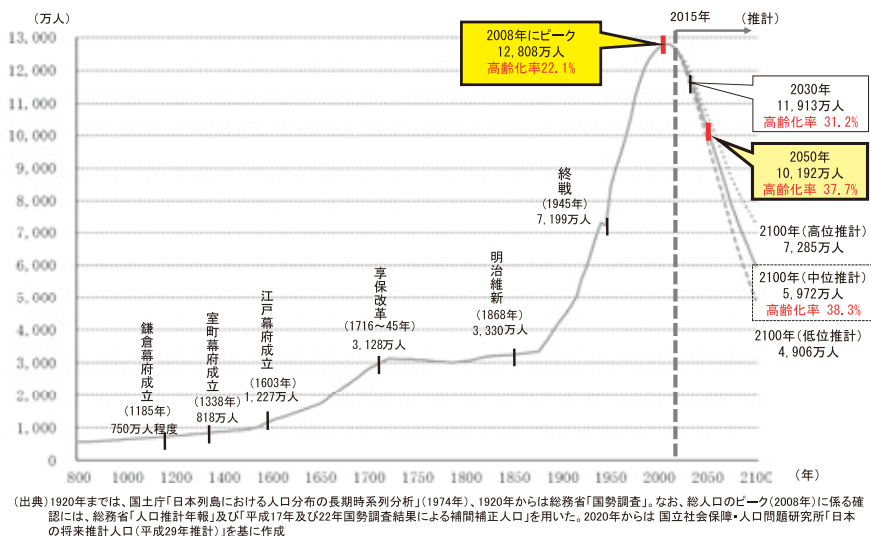


表2 1750年、1850年の主要国の人口(千人)

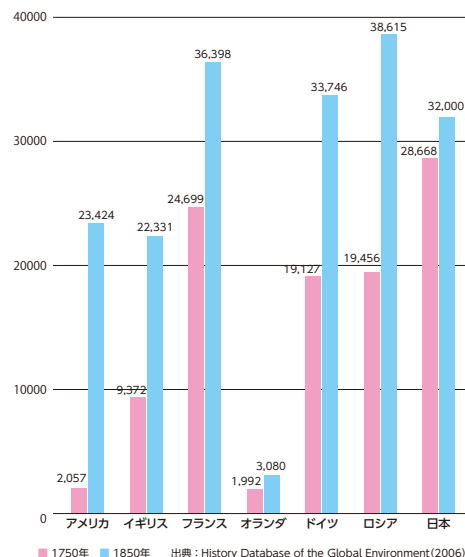


表3 世界人口ランキング 2025 年

順位	国名・地域名	総人口(×百万人)	順位	国名・地域名	総人口(×百万人)	順位	国名・地域名	総人口(×百万人)	順位	国名・地域名	総人口(×百万人)
1	インド	1,463.9	12	日本	123.1	23	フランス	66.7	34	イラク	47.0
2	中国	1,416.1	13	エジプト	118.4	24	南アフリカ	64.8	35	アルゼンチン	45.9
3	アメリカ	347.3	14	フィリピン	116.8	25	イタリア	59.2	36	アフガニスタン	43.8
4	インドネシア	285.7	15	コンゴ民主共和国	112.8	26	ケニア	57.5	37	イエメン	41.8
5	パキスタン	255.2	16	ベトナム	101.6	27	ミャンマー	54.9	38	カナダ	40.1
6	ナイジェリア	237.5	17	イラン	92.4	28	コロンビア	53.4	39	アンゴラ	39.0
7	ブラジル	212.8	18	トルコ	87.7	29	韓国	51.7	39	ウクライナ	39.0
8	バングラデシュ	175.7	19	ドイツ	84.1	29	スーダン	51.7	41	モロッコ	38.4
9	ロシア	144.0	20	タイ	71.6	31	ウガンダ	51.4	42	ポーランド	38.1
10	エチオピア	135.5	21	タンザニア	70.6	32	スペイン	47.9	43	ウズベキスタン	37.1
11	メキシコ	132.0	22	イギリス	69.6	33	アルジェリア	47.4	44	マレーシア	36.0

て増え続けていくと予想されている。

日本の人口ピーク時である 2008 年は世界人口ランキング 10 位（12.3 千万人）だったのが、現在は 12 位である。ちなみにドイツ 19 位（8.4 千万人）、イギリス 22 位（6.9 千万人）、フランス 23 位（6.6 千万人）、韓国 29 位（5.1 千万人）（表 3 参照）

日光市川治地区を紹介しよう。川治は、鬼怒川温泉よりさらに奥の、今も昔もあまり変わらない温泉街である。戦後、子供が急増し、最盛期の 1962 年（昭和 37 年）川治小学校 319 名、川治中学校 153 名を記録している。約 50 年後の 2010 年（平成 22 年）川治小学校 4 名、川治中学校は 3 名まで減少し両校とも廃校となった。このような現象が全国各地で起こったのである。

明治維新後、又、終戦で日本の市街地が壊滅した後も、日本の人口はうなぎ登りに増加していった。それは長い日本の歴史の中でも類のない出来事である。増え続ける人口に対して、インフラ整備・住居供給・学校建設等で我々の先人達も我々も、需要に応えるよう建築分野において全力で取り組んできた。（表 1）を見るだけでも、その努力がどれほどのものか分かる。

今後は、反対のことが起きていく。これまた日本の歴史上にない未知の時代に突入していくのである。人口減少・高齢化・労働人口減少が 100 年先まで続く中で、どういう心構えで臨むか「長期ビジョン」が必要である。地方都市間での人口の引き抜き合戦では解決にほど遠い。今まで築き

上げてきたインフラを縮小しつつ、有効に転用・活用し、生活水準を維持しながら向上させていく。そして、生産性を高め、人口が減少しても立ち行く社会を、知恵を出し合って生み出していかなくてはならないのだ。そんな「長期ビジョン」を争点とする国政選挙が行われれば、幅広い世代から有益なアイデアがでてくるかもしれない。

（表 4 参照）栃木県内でも市町ごとの将来人口推移は大きく差異がある。宇都宮市や小山市は人口減少が比較的緩やかだが、他の市町は減少率にばらつきがある。特に急減予想がある市町は早急な対策が求められる。その対策や取り組みは他市町の参考になり効果を得られるので、地域を越えて共に知恵を絞り、より良い方策を見つける努力が必要だと感じている。

表 4 栃木県 2045 年までの将来人口推計

市区町村	2015 年	2020 年	2025 年	2030 年	2035 年	2040 年	2045 年	比率 (%)
宇都宮市	518,594	522,399	520,882	515,222	506,181	494,514	481,029	92.8
足利市	149,452	143,267	136,218	128,622	120,604	112,437	104,541	69.9
栃木市	159,211	153,422	146,832	139,641	131,934	123,742	115,516	72.6
佐野市	118,919	115,532	111,579	107,266	102,599	97,613	92,525	77.8
鹿沼市	98,374	94,189	89,581	84,703	79,603	74,222	68,765	69.9
日光市	83,386	76,970	70,466	63,999	57,626	51,402	45,437	54.5
小山市	166,760	167,536	166,783	164,777	161,610	157,459	152,566	91.5
真岡市	79,539	76,597	73,213	69,625	65,736	61,492	57,141	71.8
大田原市	75,457	72,674	69,418	65,953	62,279	58,254	53,942	71.5
矢板市	33,354	31,369	29,240	27,025	24,749	22,395	20,064	60.2
那須塩原市	117,146	115,416	112,582	108,939	104,474	99,281	93,603	79.9
さくら市	44,901	44,722	44,233	43,519	42,631	41,533	40,274	89.7
那須烏山市	27,047	24,898	22,806	20,771	18,760	16,721	14,734	54.5
下野市	59,431	58,874	57,968	56,783	55,305	53,531	51,588	86.8
河内郡上三川町	31,046	30,313	29,344	28,256	26,988	25,524	23,945	77.1
芳賀郡益子町	23,281	22,146	20,947	19,655	18,268	16,812	15,346	65.9
芳賀郡茂木町	13,188	11,600	10,151	8,839	7,628	6,455	5,347	40.5
芳賀郡市貝町	11,720	11,230	10,739	10,231	9,689	9,082	8,428	71.9
芳賀郡芳賀町	15,189	14,256	13,283	12,285	11,242	10,161	9,122	60.1
下都賀郡壬生町	39,951	39,919	39,543	38,857	37,881	36,715	35,490	88.8
下都賀郡野木町	25,292	24,670	23,801	22,692	21,394	19,999	18,625	73.6
塩谷郡塩谷町	11,495	10,432	9,416	8,446	7,506	6,570	5,689	49.5
塩谷郡高根沢町	29,639	28,754	27,728	26,709	25,566	24,270	22,896	77.2
那須郡那須町	24,919	23,575	22,037	20,421	18,751	17,008	15,241	61.2
那須郡那珂川町	16,964	15,475	14,052	12,713	11,410	10,096	8,775	51.7

出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成 30 年（2018 年）推計）」

コラム

あのクルマ

広報・渉外委員会 副委員長 鮎澤 浩

最近、やけに古いスポーツカーを見かけるようになった気がする。トヨタの AE86、マツダの RX-7、日産シルビアや 180SX、そして懐かしのスープラに、私が昔乗っていたセリカ GT-Four。走行音も、後ろ姿も、あの頃と変わらない。いや、変わっているのはきっと私の方なのだろう。

「最近よく見るなあ」と感じるのは、自分のなかに、その時代を懐かしむ気持ちが芽生えたからだ。意識のアンテナが自然と反応して、目に飛び込んでくるのだろう。

ある日、近所の GR ガーデンの前を通りかかったとき、目に留まったのはあのセリカだった。丸いフォグランプ、ダクトのついたボンネット、そして独特の膨らみを持ったリアフェンダー。私が 20 代のころ、愛車として乗っていた GT-Four とまったく同じ型だった。

思わず足を止め、そのまま店に入って「すみません、あのセリカ……中、見てもいいですか？」と声をかけていた。スタッフの方も快く応じてくれ、ぐるりと一周し、ガラス越しに中を覗き込んだ。運転席のあのバケットシート、ダッシュボードの曲線……記憶が一気に呼び覚まされ、心の奥が熱くなった。

「これは展示だけで、販売はしておりません」と言われてがっかりしたが、それでも再会できたことが嬉しかった。まるで推しのアイドルに、偶然街で出くわしたような、そんな気持ちだった。

あのセリカには、10 万キロを超えて思い出が詰まっている。社会人としての一步を踏み出したばかりの頃。給料のほとんどをガソリン代とクルマに注ぎ込んで、それでも楽しくて仕方なかった。

そういえば、忘れられない出来事がある。ある日、一人でドライブしていたとき、ふと車に異変を感じて路肩に停め、ボンネットを開けて様子を探っていた。すると、いつの間にか一人の男性が近づいてきて、「大丈夫ですか？」と遠慮がちに声をかけてくれた。何が起きたかを



説明しているうちに、また別の人が加わり、気づけば知らない者同士で車談議に花が咲いていた。結局、車に異常はなかったが、皆で笑い合い、名前も名乗らずその場をあとにした。あの不思議な一体感と温かさは、今でもふとした時に思い出す。車という共通言語がなければ、生まれなかった時間だったと思う。

そして思い出すのは、キャリアカーに積まれて旅立っていく最後の姿。何をしても動かなくなったセリカを、ディーラーの担当者が引き取りに来たあの日、僕は何も言えずに、ただその背中を見送った。人目をはばかりつつも、目頭が熱くなっていた。今思えば、あれが一つの時代の区切りだったのだろう。

代わりにやってきたのは、子どもも乗せられるファミリーカー。チャイルドシートを装着して、買い物にも便利な車に乗るようになった。そこに悔いはなかったが、心のどこかに“走る楽しさ”を封印した自分がいた。

時は流れ、長男が社会人になった。就職し、少し経って自分の車を手に入れたという。

聞けば BMW、E87 型の 6 速マニュアル。最初は驚いたが、「オートマじゃつまらないので！」と笑う息子の言葉に、あの頃の自分が重なった。

ネットで探し、メンテも自分でやる覚悟で選んだそう。最近の若者は車に興味がないなんて言われるけれど、



本当に好きな人間は時代が変わってもやっぱり現れる。
血は争えない。

思えば、私のまわりも、みんな“あの時代”の車に乗っていた。AE86をこよなく愛した友人は、峠でのコーナリングが命。RX-7に乗っていた先輩は、エンジン音で「今夜も来たな」と分かった。

スープラに乗っていた同級生は、当時としては珍しく2000ccで3ナンバーというスペックを自慢していた。車幅が1,700mmを超えていたための3ナンバーだったが、「大きさだけじゃない」と鼻高々だったのを覚えている。



週末になれば、あちこちの駐車場に集まってはボンネットを開け、改造の話や走りの話で夜が更けた。まるで、自分たちの城がそこにあったような感覚だった。

車には、その時代の空気と、所有者の人生の一部が宿っていると思う。あの時代の車には、設計者や職人の「こうしたい!」という強い意思と、遊び心が詰まっていた。乗り手もまた、それを読み取って愛した。

それは、私たち建築士の仕事とも通じるものがある。建物だって、ただの器ではない。用途に合わせ、居る人にとって最も良い空間を考え、デザインし、構造を組み上げていく。効率や性能だけでなく、「良い建築をつくりたい」という熱意が、住む人・使う人の心に届く。だからこそ、人の記憶に残る建物になる。

今の車は、安全性も燃費も快適性も格段に向上した。でも、それでもあの時代の車を恋しく思うのは、そこに



「人の手の温もり」を感じるからかもしれない。

同じように、僕らの仕事も、技術革新が進んでも「人の思い」が通ってこそ価値がある。そう自分に言い聞かせながら、日々の仕事に向かっている。



先日、息子が「今度、友達とドライブに行く」と言って、工具箱と予備パーツをトランクに詰めていた。

その後ろ姿を見て、「ああ、自分もこんなだったな」と少し照れくさくなった。親父くさいと思われるかもしれないが、もしどこかで彼のクルマが止まったら、迷わず駆けつけるつもりでいる。

人生には、思い出の詰まった“愛車”が、誰にでも一台ある。セリカ GT-Four はもう私の手元にはないけれど、心のなかには今でも、あの独特のエンジンサウンドとハンドルの重みが残っている。

そしてそれは、いつかまた別の形で、私のそばに戻ってきてくれるような気がしている。

コラム

ワイン・トピックス（４）

広報・渉外委員会 委員 新井 孝

日々熱心に建築設計の仕事に取り組んでいる、栃木県建築士事務所協会員に、私が訪ねたり、見たり聞いたりした、ワイナリー、ワインに関する話題を掲載して、気楽な息抜きの場を提供したいと思います。当面、日本国内のワイナリー紹介をしていきます。第4回はカーブドッチワイナリーです。

カーブドッチを知ったきっかけ

筆者は2017－2018ライオンズクラブ国際協会333B地区のキャビネット幹事を務めていました。任期が終了した際、333A（新潟県）のガバナーが333B・C・D・Eの幹事の労をねぎらって新潟市のイタリア軒で一席設けてくださいました。宴席までの市内観光で回った中にカーブドッチの直営レストラン・カフェがあったのです。カーブドッチのパンフレットをもらって、いつか機会があったら行ってみたいと思っていました。あれから7年の時を経て、今年令和7年7月に、妻子を誘ってカーブドッチを訪れてみました。

ワイナリーリゾートの発展形

新幹線で新潟市まで行き、JR 越後線で福井方面に8区間、28分、内野駅で下車しました



内野駅前

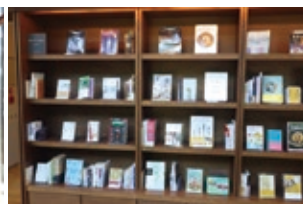
余談ですが、内野駅の2つ手前に新潟大学前駅があります。筆者の会社の町内にかかりつけの歯科医院があり、院長は新潟大学出身で足高では茂木敏充とクラスメイトでした。新潟市内でもかなり周辺地という感じがします。7月13日日曜日の正午頃に内野駅に着いてびっくり、駅前商店街が休業日で、幸い寿司屋が一軒開いており、昼食にしました。握り一人前900円ほどで安くて新鮮で、とても美味しかったです。13:30頃カーブドッチの送迎バスが来て、20分くらい乗り、カーブドッチに到着、



送迎バス



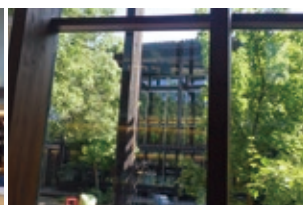
宿泊施設ロビー



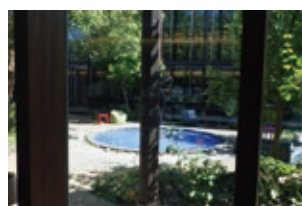
ロビー脇本棚



フロント



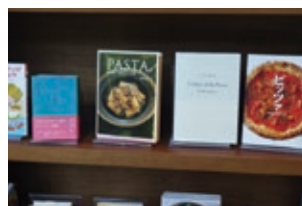
温泉施設



中庭



料理の本



料理の本



ワインの本



ワインの本



宿泊施設車寄せ

同乗者は数名でした。

宿泊施設で一休み。ロビーの脇に書棚があり、料理関係、ワイン関係の本が多数置かれていました。おそらく、経営者の方の取り組みの一環と思われます。16時からワイナリーツアーが始まります。



カーブドッチ 案内図



ワインショップ



ぶどう畑



ぶどう畑の先にホテル



案内人



ホテル近景



ぶどう成木



ぶどう新苗



ワイン工場へ



自動草刈機ルンバ



ワイン工場



圧搾機



ぶどう籠 ジュース樽



醸造所



ろ過機



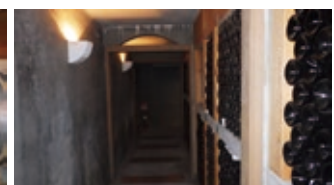
炭酸ガス



貯蔵樽



貯蔵施設



びん貯蔵



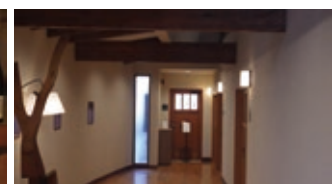
びん貯蔵額



貯蔵施設出入口



ワインショップで試飲



ツアー終了

平成4年に、9haのぶどう畑を入手してワイナリーが始まりました。日本海から、ほんの500メートルほどの距離に位置しています。砂質土壌が特徴となっており、一通りのヨーロッパ人気品種に加え、特産のアルパリーニョが栽培されています。生産ワインの30%が自家栽培のぶどうです。ツアーでは、垣根づくりのぶどう

畑やワイン工場での製造過程を一通り説明していただき、最後に何杯か試飲してワイナリーツアーが終了しました。

カーブドッチは、ワイナリーが何棟もあり、ホテルやレストランもいくつか併設されています。温泉があり、最寄り駅までバスを走らせ、日々多くの観光客を迎えています。まさに、新潟を代表するワイナリーリゾートの

発展形です。

この後は温泉に入って、お待ちかねの夕食です。



平目



鮎の唐揚げ



とうもろこし饅頭



蒲原牛サーロインすき焼き丼



メロンとジェラード

予約時点で、日本料理コースしか取れませんでした。6種のペアリングワインが用意されていましたが、量が少なく高い感じがしました。いつもの調子で、瓶でシャルドネ（白）とサブル（赤）を注文しましたが、後になって思うとお勧めのペアリング通りにした方が、より味わい深い経験ができたかもしれないと後悔しました。夕食は和食のコース料理でしたが、とても素晴らしく大満足でした。旅疲れもあり、早くに就寝できました。



温泉施設から見る畑

早朝より起きて温泉に入りました。上の写真の眺めの通り、温泉から見渡すぶどう畑も爽快でした。そして楽しい朝食です。

なんといっても新潟米が美味しく、大変結構でした。

9:30に送迎バスに乗り込んで、内野駅へ送ってもらい、JR 越後線で新潟方面へ向かいました。電車は1時間に1本しかなく、待ち時間がかなりありました。新潟大学前駅を横目にしながら、かかりつけ歯医者のことを思い出しつつ、新潟駅に着。駅のコンビニで美味しい新潟

お品書き
国産鮎と焼なすの土瓶蒸し
平日からすみまぶし 鮎とレモンの見布締め 地魚の手巻寿司
新発田アスパラとさざえの肝醬油 山葵と紫蘇のジュレ
鮎の唐揚げ 甘露仕立て ぶどう葉の香り
とうもろこし饅頭 栗丹 銀箔
蒲原牛サーロインすき焼き丼 Vinespa温泉卵 赤出汁 漬物
メロンとごちそうゼラート
カイホロコーヒー

夕食メニュー

Pairing Wine
2023 ブランドブラン 竹味の雫を感じる新田産 あふれる酵母の酸
2024 ノンパリック シャルドネ 夏の爽やかな清涼感 華やかでドライな辛口
2024 サブル白 サザエの海のミネラル感 アルバリーニョの塩味
2021 おうむ 川魚の肝のニュアンス フグアイザルトリへの豊富な果実味
2024 樽熟成シャルドネ とうもろこしの優しい旨さ シャルドネの糖香
2023 サブル赤 赤身の肉の味わいと個性の良い酸の赤
ワインペアリング6種 ¥6,600 (税込)
一杯約50cc程度、上記金額で承っております。

夕食ペアリングワイン

朝食メニュー
先付 ざる豆腐 新田産の塩 オリーブオイル
地物 鮎の唐揚げ 神楽おろし 酢取り茗荷
向付 鳥賊煮 いくら 栗丹 銀箔
純 蒲原産の出汁巻 車海老 銀あん
煮物 鴨肉神楽南蛮味噌 旬菜炊き合わせ
メ こしひかりご飯
甘味 ごちそうゼラートとぶどう花の蜂蜜
お茶は新潟県産の「ひかり」 西条地区の銘産茶より新年度の新しいものを仕入れ、朝露に 合わせたお茶をご用意させていただきます。お味増し。 丁寧に選りすぐれたお茶をご用意させていただきます。 皆様のご来店、一日の始まりとなることを願っております。 料理長 小山

朝食メニュー



朝食

米を買って、新幹線で帰宅しました。

こうして、7年間の思いが一つ実現しました。何種かの試飲と夕食のワインを飲んで感じたことは、砂質土壌で育ったぶどうには独特の風味があるということです。結局、その土地の気候風土によってワインの味が構成されるのだなと感じました。問題は、その独特性を美味しく感じるかどうかですが、カーブドッチのワインは、たまには飲んでみてもいいかなと思います。手頃な価格の会員販売もあるので、申し込んでみようかと思います。



コラム

鹿沼さつきマラソン大会 30 回連続出場達成

広報・渉外委員 水沼 孝明

継続と挑戦の思い出

2025 年 5 月 11 日第 45 回鹿沼さつきマラソン大会に参加して 30 回連続出場を達成しました。コロナ感染拡大時の 2 年間は地元鹿沼市民だけの参加となり出場できませんでしたが、連続出場の対応を残してくれたため今回節目の 30 回連続出場を達成することができました。20 回、25 回と続けてきましたが 30 回には特別な気持ちがありますし、単なる記録や数字以上の意味を感じています。それは日々の努力、健康管理、そして何よりも「続ける」ことへの情熱と意志の表れだったと思っています。

鹿沼さつきマラソン大会は、鹿沼市で毎年春に開催される市民参加型のマラソン大会です。「さつき」の名は、鹿沼市の市花であるサツキツツジにちなんで名付けられています。大会は 1980 年代に始まり、年々規模も拡大。市民のみならず、県外や全国からも多くのランナーが参加する人気イベントとなっています。この大会の特徴は、ファミリーランや 10km マラソン、ハーフマラソン、さらには初心者向けの短距離種目まで多様なコースが用意されている点です。

初めて鹿沼さつきマラソン大会に出場したのは 1993 年頃になります。友人の誘いもあり新たなチャレンジとしてエントリーした記憶があります。その後いろいろな



マラソン大会に参加するようになり走るのが楽しくなっていた頃です。調子に乗ってホノルルマラソンや東京マラソンにも参加してしまいました。鹿沼さつきマラソンの醍醐味は 5 月上旬の新緑あふれる季節、田植えが終わったのどかな田園風景の中を走ること、沿道には鹿沼の彫刻屋台が出てくれて、さらにお囃子の応援が力を与えてくれるところです。2015 年にはタレントのタッチが同じコースを走っていましたがあれよあれよという間に追い抜かれてしまった思い出もあります。はじめは 10km を頑張っていましたが、今は 3km か 5km にエントリーしています。

左下の写真は 20 回、25 回、30 回連続出場記念品で、鹿沼らしさがありお気に入りです。

右上の写真は 65 歳以上の参加者に贈られる鹿沼きびがら細工の干支です。鹿沼箒と同じ材料と箒編みの技を駆使して可愛らしく作られています。一緒に参加した友達の間も並べました。

また、市外からの参加者には「はるばる賞」というものがあり、サツキの苗がいただけます。ですから庭はサツキでいっぱい、毎年サツキの花を楽しんでいます。これからものんびりと鹿沼路を楽しみながら走り続けていきたいと思っています。



一般社団法人 栃木県建築士事務所協会

釣り部通信

No.
014

発行日：令和07年9月1日
編集&発行：KATSU・LABO
柱 貴樹

東京湾金アジ

残暑の季節にも関わらず、まだまだ酷暑が続く今日この頃ですが、皆さまいかがお過ごしですか。

さて、夏はレジャーの季節ではあるものの、こと釣りに関して言えば、陸っぱりではター

ゲットがぐっと減ってしまう季節でもあります。サーフのヒラメ、マゴチ、青物などが代表的な釣り物になりますが、なかなか手軽な釣りとはいかないところが悩ましいですね。そんな皆様にお勧めな

のが、船釣りです。少々ハードルが高そうに思うかもしれませんが、東京湾や湘南辺りの釣船は完全に客商売として成立しており、サービス満点です。予約時に初めてであることを伝えれば手取り足取り教えてくれる船も珍しくありません。道具が無くてクーラーBOXさえ準備して行けば他の道具はレンタルで何とかするのも良いところです（あ、飲み物とか身の回り品は当然自分でお持ちください。防水のカバンがあると安心です）。

私の最近のお勧めは東京湾でのアジ釣りで。最近仲良くなった某お医者さんを初めとする釣りバカグループに誘われて、行くようになったのですが、最初は「どうして東京湾まで足を運んで、アジなんぞ釣らなくてはいけなんだ・・・」とか思っていました。でも、そんな気持ちは一度行って消し飛びました。だって、東京湾のアジは兎に角おいしいんです！

湾岸沿いの工場で使う何かの堆積場がある岸

壁などの近くでも釣るので、「こんなスラグが海面に浮くような場所で釣ったアジなんて、どうなんだろう？」と思うこともありましたが、しかしながら、さすが東京湾のアジは「東京湾金アジ」と言われてブランド化されているだけのことはあります。狭い東京湾に居ついたそのメタボなアジは体表がほのかに金色がかり、捌けば手が脂でべとべとになるほど、食べれば最高の美味しさです。リピーター続出もうなずけるブランドアジです。良かったら皆様も一度行ってみてください。

釣り方はとても簡単です。「ライトアジ」という方法でどこの船も紹介されていて、釣り方も大体同じです。40号と比較的軽いビシを使うので、女性や子供でも気軽に釣ることが出来ると思います。実際、親子で乗船している人たちも良く見かけます。また東京湾は晴れていれば殆どの場合波も静かです。湾が深く奥まった場所で釣るので船酔いが少し心配な方でも、酔い止めを飲めばけっこう大丈夫なのではないかと思います。ぜひご家族で出かけてみてください。

さて、東京湾の釣りで楽しめるのは魚ばかりではありません。実は工業地帯や都会ならではの大規模な工場や構造物も楽しめます。埋立地を繋ぐダイナミックな橋を普段は見られない下側から眺めることが出来たり、大規模な工場萌えする方なら涎が止まらないであろう、なんだかわからない大規模なコンビナート、実際見ると予想外に大きなタンカー船、小山のごとく積まれた何か・・・。





普段、普通に生活しているとまず見ないであろう風景が、目の前に広がります。釣り場につく

までの数十分、そんな景色を楽しみながら過ごすのもいいのかもしれません。

今回お世話になったのは、川崎から出航している「つり幸（つりこう）」さんでした。

遊漁船としてはかなり大きくやっているようで、何隻も船をお持ちのようです。トイレもキャビンもあるので、安心して乗ることが出来ました。また、餌は当日船宿が準備してくれます。

仕掛けや道具はレンタル、購入が船宿で出来るので、殆ど手ぶらでも乗船可能ですが、道具のレンタルは事前に電話で話をしておく方が良いと思います。

これから秋に向かい、釣りものも増えて来ますし、魚も美味しい季節になって来ます。たまには釣り船に乗ってみてはいかがでしょうか。



ベストセラーの主人公と出会う



「ナカスイ」という本を御存じでしょうか？令和5年に第1巻が発売された、馬頭高校水産科に通う女子高生をモデルにした栃木県発のベストセラー小説です。この本を買って直ぐに心筋梗塞で入院したので、病院のベッドの上で読んでいました。生き生きとした描写がなかなか魅力的で、続けて2巻、3巻と買って読んでいます。今回釣りに行ったときに「桂くん、この子も車に乗っけて行って～」と頼まれた通称「ももちゃん」。右の写真に映る黒ずくめ（日焼け対策です）の怪しい女性です。

取り敢えず初顔合わせの20代の女性だったので、何を話して良いものやら手探りしつつ、

どうやら水産大学を出ていて魚には抵抗感がまったく無いらしいということはわかりました。何気なく、女性で水産やってたなんて「ナカスイみたいだね～。

知ってる？ナカスイ？」と話していたら、彼女から思わぬ一言が・・・。「その本のモデル、私です・・・」本当にびっくりしました。まさか自分が読んでいた本のモデルと出会う事になるとは。その後、一気に距離感は縮まって、本と現実のギャップの話、高校でどんな勉強をしていたのか、などなど根ほり葉ほり聞き出したりと楽しい2時間のドライブが出来ました。家に帰ってから、本の後ろにある参考資料をみると、あるある彼女の名前が。最近はまだ一度読み返してみたいのですが、目線が変わって少し違うお話のように読めています。皆様も是非読んでみてください。



※釣り部通信で使われているイラスト及び画像はすべて著作権フリー又は独自の撮影によるものですが、転用はしないようにして下さい。

新会員の紹介



氏 名 **星野 友宏** (ホシノ トモヒロ)

事 務 所 名 株式会社星野設計室 〒329-3147 栃木県那須塩原市東小屋135番地2

TEL/FAX TEL.0287-74-6770 FAX.0287-74-6750

管 理 建 築 士 1級第333887号 星野 友宏 事務所登録 A1第3656号



氏 名 **石川 裕之** (イシカワ ヒロユキ)

事 務 所 名 石川建設株式会社一級建築士事務所 〒325-0045 栃木県那須塩原市高砂町5-12

TEL/FAX TEL.0287-62-0054 FAX.0287-63-8357

管 理 建 築 士 1級第211630号 松本 正彦 事務所登録 Aへ第2187号

新賛助会員の紹介

石川建設株式会社栃木支店

支店長 稲垣 透

住 所 〒326-0808 栃木県足利市本城3-2023-31
TEL 0284-21-8127 FAX 0284-21-6510
H P <http://www.ishikawa-inc.co.jp/>
E-mail isi@ishikawa-inc.co.jp

営業品目・取扱商品名

●土木工事業、建築工事業、大工工事業、とび・土工工事業、屋根工事業、タイル・れんが・ブロック工事業、鋼構造物工事業、舗装工事業、内装仕上工事業、水道施設工事業、解体工事業

営業地域 関東全域

川崎工業株式会社

代表取締役 柳田 康

住 所 〒324-0614 栃木県那須郡那珂川町久那瀬735
TEL 0287-92-2621 FAX 0287-92-5858
H P <https://www.kawasaki-kougyou.com>
E-mail precut@kawasaki-kougyou.com

営業品目・取扱商品名

●軸組工法（在来・金物）の木造プレカット加工販売、住宅資材販売、木造物件構造計算、建築工事一式

営業地域 関東一円

株式会社ダイサン印刷

代表取締役 本多 勝美

住 所 〒324-0613 栃木県那須郡那珂川町馬頭2233-1
TEL 0287-92-4385 FAX 0287-92-4180
H P <http://www.bato-daisan.co.jp/>
E-mail info@bato-daisan.co.jp

営業品目・取扱商品名

●チラシ、パンフレット、冊子、ポスター、伝票、名刺、封筒、はがき、シール、屋外(内)広告・看板、ホームページ作成、イベント企画、ノベルティ

営業地域 栃木県全域、茨城県

高田産商株式会社 白河営業本部

部長取締役 矢吹 竹史

住 所 〒961-0831 福島県白河市老久保126-1
TEL 0248-27-8800 FAX 028-27-2923
H P <https://tds-takada.co.jp>
E-mail t-yabuki@tds-takada.co.jp

営業品目・取扱商品名

●総合建設資材販売（建設資材・建材・鋼材・管工機材等）

営業地域 栃木県北部及び福島県全域

有限会社ビジネスシステム通信

代表取締役 平井 万紀雄

住 所 〒321-0981 栃木県宇都宮市上野町6076-15
TEL 028-661-0141 FAX 028-661-9778
H P <https://www.bst-net.com/>
E-mail m.hirai@bst-net.com

営業品目・取扱商品名

●通信、映像、音響工事、電気設備工事、セキュリティ工事、業務用無線機販売他

営業地域 栃木県全域及び近県

(一社) 栃木県建築士事務所協会

創立 70周年

 70th anniversary 令和7年10月、創立70周年を迎えます。

記念式典開催

記念式典	午後3時より
基調講演	午後4時10分より
講演者	福田 富一 知事
祝賀会	午後5時より

令和8年1月21日(水)
ホテル東日本宇都宮

多くの皆様にご参加いただけますよう、心よりお待ち申し上げます。

協会日誌

4月

- 4・定例常任理事会 協会会議室で開催
- 9・会員交流委員会 ホテルニューイタヤで開催
- 11・第5回事連NEXT-関東甲信越ブロック青年協議会コアミーティング 水戸市民会館で開催 (安藤篤史常務理事・渡辺純一理事出席)
- ・業務運営委員会 協会会議室で開催
- 14・木造建築物耐震業務WG
- 15・栃木県建設産業団体連合会正副会長会議 栃木県建設産業会館で開催 (山崎良知会長出席)
- 17・令和6年度会計監査 協会会議室で開催 (会計監事1名他役員2名)
- 23・定例常任理事会・役員会(15:00～)・定例理事会(16:00～) 栃木県総合文化センターで開催
- 24・次世代創造委員会 協会会議室で開催
- 25・栃木県建設産業団体連合会常任理事会・理事会合同会議 栃木県建設産業会館で開催 (山崎良知会長・本澤崇副会長出席)
- ・栃木県弁護士会新役員就任披露パーティー 宇都宮東武ホテルグランデで開催 (山崎良知会長出席)
- 30・令和7年度第1回新技術研修会 パルティとちぎ男女共同参画センターで開催 (参加者40名)

5月

- 8・事務局会議(14:30～)・創立70周年記念式典準備委員会(15:00～)・定例常任理事会(16:00～)
協会会議室で開催
- 9・栃木県マロニエ建築賞運営委員会 栃木県庁北別館で開催 (山崎良知会長出席)
- 13・第6回次世代創造委員会専門職種セミナー 栃木県総合文化センターで開催 (約40名参加)
- 14・会員交流委員会 協会会議室で開催
- 16・宇都宮まちづくり推進機構理事会 栃木県産業会館で開催 (山崎良知会長出席)
- ・栃木県安全で安心なまちづくり県民会議 栃木県庁大会議室で開催 (本澤崇副会長出席)
- 19・第6回事連NEXT-関東甲信越ブロック青年協議会コアミーティング Web会議(自社事務所で参加) (安藤篤史常務理事・渡辺純一理事出席)
- 20・定例常任理事会(13:30～)・理事会(15:00～)・令和7年度定時総会(16:00～)
宇都宮東武ホテルグランデで開催 (出席者44名・委任状79名)
- 21・栃木県設備業協会第14回通常総会 ホテルニューイタヤで開催 (山崎良知会長出席)
- 22・第29回 BIMと情報環境WG Web会議(協会会議室で参加) (本澤崇副会長)
- Web会議(自社事務所で参加) (横松邦明理事)
- ・栃木県産業資源循環協会総会後の懇親会 宇都宮東武ホテルグランデで開催 (酒井誠常務理事出席)
- 23・宇都宮市支え合い協議会総会 宇都宮市役所で開催 (渡邊有規副会長出席)
- ・日事連 全国会長会議 鉄鋼会館で開催 (山崎良知会長出席)
- ・栃木県宅地建物取引業協会定時総会・全国宅地建物取引業保障協会栃木支部定時総会
ホテル東日本宇都宮で開催 (君島広之副会長出席)
- ・栃木県鉄構工業会通常総会 ベルヴィ宇都宮で開催 (塩田真吾常務理事出席)
- 26・栃木県設備業協会定時総会 栃木県建設産業会館で開催 (安藤篤史常務理事出席)
- 27・業務運営委員会 協会会議室で開催
- ・栃木県中小企業団体中央会通常総会 ベルヴィ宇都宮で開催 (安藤篤史常務理事出席)
- ・栃木県土地家屋調査士会第77回定時総会 ホテルニューイタヤで開催 (本澤崇副会長出席)
- 28・群馬県建築士事務所協会 創立70周年記念式典 ホテルラシーネ新前橋で開催
(山崎良知会長・本澤崇副会長・渡邊有規副会長・君島広之副会長出席)
- ・栃木県建設業協会総会
- 29・会員交流委員会 協会会議室で開催
- ・宇都宮まちづくり推進機構通常総会・交流会(親睦会) 宇都宮東武グランデで開催 (山崎良知会長出席)

- | | |
|-----------------------|---------------------------------------|
| 30・栃木県建設産業団体連合会通常総会 | 栃木県建設産業会館で開催（本澤崇副会長、君島広之副会長・鈴木専務理事出席） |
| ・業務運営・次世代創造合同委員会開催 | 宇都宮市文化会館で開催 |
| ・令和7年度建築士サポート体制ブロック会議 | Web会議（鈴木秀男専務理事出席） |
| ・宇都宮市管工事業協同組合第73回通常総会 | ホテルニューイタヤで開催（山崎良知会長出席） |

6月

- | | |
|---|--|
| 4・栃木県建築士会令和7年度定時総会 | ホテルニューイタヤで開催（山崎良知会長出席） |
| 5・事務所協会ゴルフ大会 | 新宇都宮カントリークラブで開催（参加者114名） |
| ・会員交流親睦会 | ホテルニューイタヤで開催（参加者150名） |
| 6・長野県建築士事務所協会 創立50周年記念式典・祝賀会 | ホテルメトロポリタン長野（山崎良知会長・本澤崇副会長・渡邊有規副会長・君島広之副会長出席） |
| ・広報渉外委員会 | Web会議 |
| 9・第7回日事連 NEXT-関東甲信越ブロック青年協議会コアミーティング | Web会議（安藤篤史常務理事出席） |
| 10・定例常任理事会 | 協会会議室で開催 |
| 16・品質管理監査会議 | 生コン会館（塩田真吾常務理事出席） |
| 19・技術研修委員会 | Web会議 |
| ・次世代創造委員会 | 協会会議室で開催 |
| 20・日事連NEXT-関東甲信越ブロック青年協議会ミーティング | 水戸市民会館（本澤崇副会長・安藤篤史理事・桂貴樹理事・佐治貴大理事
渡辺純一理事・五味洸理章出席） |
| ・第1回栃木県建設産業団体連合会団体会議 | 栃木県建設産業会館で開催（山崎良知会長出席） |
| ・業務運営委員会 | 協会会議室で開催 |
| 23・日事連全国会長会議(13:30～)・日事連定時総会(15:10～) | 鉄鋼会館で開催（山崎良知会長・本澤崇副会長出席） |
| 25・日事連サービス定時株主総会 | 日事連で開催（山崎良知会長出席） |
| 26・建築士定期講習 | 栃木県教育会館（参加者28名） |
| 27-28・第179回日事連関東甲信越ブロック協議会会議 | 水戸市で開催（山崎良知会長以下常任理事4名出席） |
| 30・定例常任理事会・(13:00～)・理事会(14:00～)・創立70周年記念式典準備委員会(15:30～) | 栃木県総合文化センターで開催 |

7月

- | | |
|---|---------------------------------|
| 4・広報・渉外委員会 | Web会議 |
| ・業務運営委員会 | 協会会議室で開催 |
| 7・PPP/PFIプラットフォーム会議 | 宇都宮市役所で開催（本澤崇副会長出席） |
| 8・建築工事設計図書確認基礎研修 | とちぎ建設技術センターで開催（鈴木秀男専務理事出席） |
| 10・県北支部総会 | 那須塩原市内で開催（君島広之副会長・酒井誠常務理事出席） |
| 16・第33回AP展・第6回建築展(16,17) | 宇都宮市文化会館で開催（来場者450名 講演会出席者350名） |
| 17・令和7年度第2回新技術研修会 | 宇都宮市文化会館で開催（参加者64名） |
| 18・日事連事務局連絡会議 | Web会議(協会から参加)（鈴木秀男専務理事出席） |
| ・会員交流委員会 | ホテルニューイタヤで開催 |
| 23・会計確認会議(13:30～)・事務局会議(14:00～)・創立70周年記念式典準備委員会(14:30～)・定例常任委員会(15:30～) | 協会会議室で開催 |
| 30・栃木県木材業協同組合連合会との意見交換会 | ホテルニューイタヤで開催（山崎良知会長以下常任理事7名出席） |

協会活動通信

令和7年度 第1回新技術研修会

4月30日、パーティとちぎ男女共同参画センターにおいて開催されました。

参加者：40名

1. 東京ガス株式会社栃木支社

- 建築における都市ガスを利用したZEB化について
- 脱炭素社会に向けた取り組みについて

2. 藤井産業株式会社・AGC硝子建材株式会社栃木支社

- 建材一体型太陽光発電モジュールの可能性について
- 建物による発電でのカーボンニュートラルの実現について

3. 福井コンピュータアーキテクト株式会社

- 最新日本製BIM「GLOBE」について
- 3Dモデル設計と建築基準法対応について



▲第1回新技術研修会（提供：日本工業経済新聞社）

令和7年度 「一級／二級／木造 建築士定期講習」

6月26日、栃木県教育会館において開催されました

受講者：28名

講習時間：9:30～17:10

令和7年度 第2回新技術研修会

7月17日、宇都宮市文化会館第1会議室において開催されました

参加者：64名

1. (一社)東北再生可能エネルギー協会

- 電力コスト削減と環境負荷低減について

2. 栃木県県土整備部都市政策課

- 確認申請時の盛土規制法について



▲第2回新技術研修会（提供：日本工業経済新聞社）

第6回 次世代創造委員会専門職種セミナー (造作家具と既製家具工事編)

5月13日、栃木県総合文化センターにおいて開催されました。

県建築士事務所協会

造作と既製家具を学ぶ

若手を集め専門職セミナー



佐治委員長

県建築士事務所協会次世代創造委員会（佐治委員長）は13日、県総合文化センターで「造作家具と既製家具工事編」の専門職種セミナーを開催した。アール・ス・岡村氏と佐治委員長が講師を務めた。

支店の竹下紳太郎サフセクシヨニチーフが既製家具の特長や施工事例を紹介。約40人の若手職員が熱心に受講した。司会進行は渡辺純一理事が務めた。

佐治委員長は「若手設計者は仕事に追われ、造作家具や既製家具についての専門的な知識を深める機会に乏しい。十分な質疑応答の時間を割くので積極的に質問し、納得の行く形で職務に反映させてほしい。多く

の質問を待っている」とある。岡村氏は18世紀半ばから19世紀にかけての産業革命で工場機械工業が普及、飛躍的に造作家具が普及、自社では3年前からベトナムホーチミン市の工場へ製作を依頼し「自社製品に劣らないより良い品質の家具が納入されている」という。

竹下氏は既製家具は大量生産後、市場で広く販売されている。価格がリーズナ

る。岡村氏は材料としてのメリットとデメリットを説明し、会場に施工事例を投影。既製組や大谷石の地場産材を使った店舗内装は組み合わせが無限大であり、顧客の様々な要望に応えられる。材質選定の建築設計の際は気密に相談してほしいと呼び掛けた。

竹下氏は既製家具は大量生産後、市場で広く販売されている。価格がリーズナ



約40人が造作と既製家具の扱い方を学んだ

フルで、サイズや色柄が決まっている。実物を見て購入できるため、目的に合った使い方ができる。かつてのオフィスは、机と椅子の組み合わせで、近年のオフィスデザインは、人財確保のための「見えるオフィス」へのリニューアルが主流。経営陣は限られた室内環境を有効にしたいという意識から「家具をできるだけ小さく通路を狭く」と要望が。こうした注文は「要注」と警鐘を鳴らす。

現在はアクティビティ・ベースド・ワーキングの業務内容や気分に合わせて時間と場所を自由に選択する働き方に変化。ワークライフバランスの実現、アイデアを生みやすい環境、優秀な人材の獲得と定着効果があるとされ「アウハウを伝えたい」と述べた。

▲栃木建設新聞（R7.5.15）



お知らせ（予定）

令和7年度 「一級／二級／木造 建築士定期講習」

日 時：令和7年9月4日(木) 受付9:00～
講習時間：9:30～17:10
場 所：とちぎ福祉プラザ

青年話創会2025新潟大会

日時：令和7年10月2日(木)14:00～19:00
場所：万代シルバーホテル(新潟市)
14:00～17:00 青年話創会
17:30～19:00 懇親会

女性交流会2025新潟大会

日時：令和7年10月3日(金)10:00～12:30
場所：朱鷺メッセ(新潟市)
10:00～10:05 開会、挨拶
10:05～12:30 プレゼンテーション作成、発表、
写真撮影、交流会等

第47回建築士事務所全国大会(新潟大会)

日時：令和7年10月3日(金)13:00～18:30
場所：朱鷺メッセ(新潟市)
09:40～ 受付開始、日事連建築賞作品展等
13:00～14:30 基調講演
14:45～16:30 大会式典
17:00～18:30 記念パーティ

令和7年度 「一級／二級／木造 建築士定期講習」

日 時：令和7年12月3日(水) 受付9:00～
講習時間：9:30～17:10
場 所：とちぎ福祉プラザ

支部活動報告

県北支部総会及び懇親会

日 時：令和7年7月10日(木)
場 所：那須 おかしげ 那須塩原市永田町4-14
支 部 長：渡邊将宏
副支部長：大高宣光、和泉卓哉、佐藤秀夫
参 加 者：総会10名 懇親会15名
協会本部より酒井常務理事にご参加いただきました。

編集後記

君島：猛暑が続く中、やっと脱稿できました。次号が出るころには極寒になっているのでしょうか？ご自愛ください。

栗原：小学生のころ、『ルパン三世』を見てイタリア車に魅了されから約40年余。今では所有し、乗ることができています。そのレガシーは現代にも引き継がれ、官能的なデザインや走行性能、他車にはない魅力があります。デザインや性能に対する考え方は建築にも通ずるところがあり、今後の設計活動にも更に影響されるのかなと思っています。

鮎澤：今年の夏も厳しい暑さが続きましたね。ふと空を見上げると、入道雲の向こうに秋の気配が少しずつ漂い始めているように感じます。季節の変わり目は体調を崩しやすい時期でもありますので、皆さまどうぞご自愛ください。

永野：毎年、「今年の夏は異常気象だ」と言われますが、この異常が普通になりつつありますね。

早乙女：今年からぬか漬けを毎日世話しています。季節の変わり目が来ると、「次はどの野菜にしようか」と考えるのが最近の楽しみです。

中村：去年9月、基準超え高断熱材の新居に移ったので、外の暑さが分かりません。

新井：今年の夏は「もういい！」と言うくらい暑かったですね！

水沼：図書館で吉田拓郎、井上陽水のCDを借りたら、当時の思い出と懐かしさが溢れました。

【広報・渉外委員会】

担当役員／君島広之 委員長／栗原弘 副委員長／鮎澤浩・永野朋幸・早乙女義明 委員／中村清隆・新井孝・大高宣光・岩村克己・大金悟・菅沼徹・高山善樹・中原淳一・菱沼正二・水沼孝明

ISO
9001・14001
取得



AIS 総合設計

Architectural Innovation & Systems

建築の質の向上を目指して



栃木県立足利高等学校

宇都宮本社：栃木県宇都宮市明保野町 2-10
TEL.028-634-6010

東京事務所：東京都港区浜松町 1-21-4 崇城大学会館ビル
TEL.03-5402-4181

埼玉事務所 / 鹿沼営業所 / 大田原営業所 / 茨城営業所



MUKG

快適な未来のまちづくり

建築・足場・塗装・解体

丸宇興業株式会社



本 社 〒329-0604 栃木県河内郡上三川町上郷1927
宇 都 宮 支 店 〒329-0934 栃木県宇都宮市築瀬3丁目21-10
宇都宮SMPセンター 〒321-0917 栃木県宇都宮市西刑部町1962-16

<https://mukg.co.jp>



0120-1649-10



INNOVATION for ALL.

ソフトウェアで建築の未来を拓く。

建築のプロフェッショナルへ、革新的な業務効率を。その先に暮らす人々へ、確かな安心と安全を。
BIMで業界をリードする私たちは、ソフトウェアの力で持続可能な社会の発展に貢献します。

福井コンピュータアーキテクトの建築ソリューションラインナップ

住宅設計支援

2025年4月法改正にも迅速対応!
3D建築CADの決定版



法改正
特設サイト
開設中!



**ARCHITREND
ZERO**

3D建築CADシステム アーキトレンドZERO

間取り入力から瞬時に3Dモデルを作成。意匠設計からプレゼン、確認申請、実施設計まで各種図面や書類、CGパースなどを一気通貫で作成する3D建築CADシステム。

BIM設計・施工支援

BIM図面審査への対応と
現場のデジタル化を実現!



BIM
確認申請
特設サイト
開設中!

**GLCOBE Architect
Construction**

Japanese Building Information Modeling CAD System

BIM建築設計・施工支援システム グローブ

企画・設計・施工からBIM-FM、維持管理までをシームレスにデータ連携。日本の設計手法や建築基準法に準拠し、BIM図面審査や施工BIMにも対応した国産BIMシステム。

データ共有クラウドサービス

設計コネクタサービス



ARCHITREND one

現況調査アプリ

iPad/iPhone専用リノベーション現況調査アプリ

リノベのへっち

施工管理ツール

現場デジタル化ツール

現場 Plus

福井コンピュータアーキテクト株式会社

■北関東営業所/〒331-0802 埼玉県さいたま市北区本郷町784
■オフィス/宇都宮・水戸・新潟・長野・高崎 ■本社/福井県坂井市(全国29拠点)

【福井コンピュータグループ総合案内】



0570-039-291

✓体験版 ✓製品紹介 ✓イベント情報 ✓導入事例
✓資料請求 ✓お見積り ✓導入のご相談 他

詳細・お問合せは
WEBでお気軽に!

福井コンピュータアーキテクト Q

<https://archi.fukuicompu.co.jp>





豊鉄工建設株式会社

YUTAKA Ironworker Construction Co.,Ltd.

国土交通大臣Hグレード認定工場



本 社

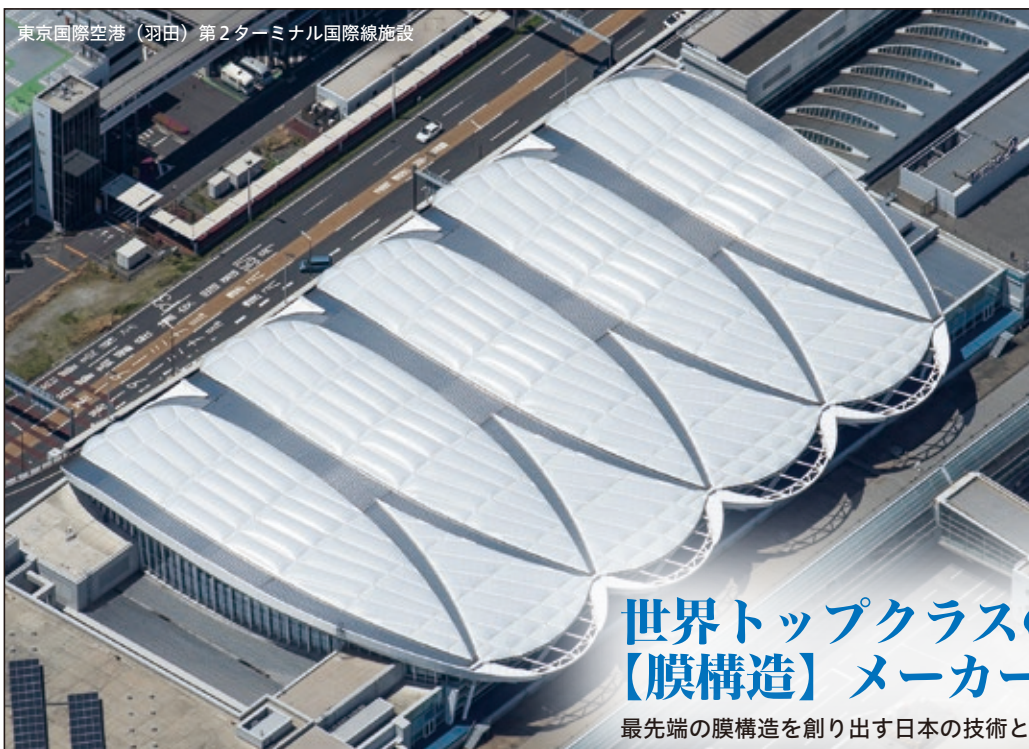
〒321-3226 栃木県宇都宮市ゆいの杜2-23-1

TEL (028)667-1693 FAX (028)667-6479



本社工場

TEL (028)666-6325 FAX (028)666-6326



東京国際空港（羽田）第2ターミナル国際線施設

協立工業 から
協立NEXTへ



有明テニスの森公園 ショーコート



カンセキスタジアムとちぎ

**世界トップクラスの技術を誇る
【膜構造】メーカー**

最先端の膜構造を創り出す日本の技術とヨーロッパデザインとの統合



協立工業株式会社

<https://www.kyoritsukogyo.co.jp>

【本 社】 〒104-0045 東京都中央区築地三丁目1番10号
TEL.03-6264-0070 FAX.03-3264-0069
【宇都宮支店】 〒321-0106 栃木県宇都宮市上横田町773
【宇都宮工場】 TEL.028-658-5678 FAX.028-658-1157





株式 会社 ^{yū} ^{Ki} 渡辺有規 建築企画事務所
Watanabe yuki Architecture Planning

栃木県宇都宮市中今泉三丁目7番15号

□ 東京事務所 □ 鹿沼営業所 □ 那須大田原事務所



そうだ ERIに聞いてみよう。

今年4月の法改正により 建築実務が大きく変わりました。

脱炭素社会に向けた住宅・建築物の省エネ対策推進によって、

建築物省エネ法、建築基準法が改正されました。

私たちは建築法規の専門家集団です。

2025年の法改正も確かな実績の日本ERIにお任せください。



日本ERI株式会社

宇都宮支店



〒 320-0026 栃木県宇都宮市馬場通り2-1-1 メットライフ宇都宮

スクエア 7階 TEL 028-610-3935





bicoh

明るい、あした、スイッチ。

電気設備設計施工

株式会社 美工電気

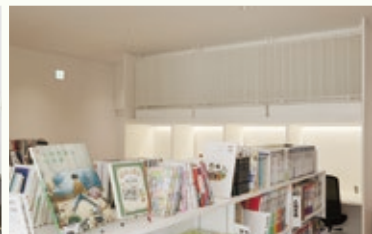
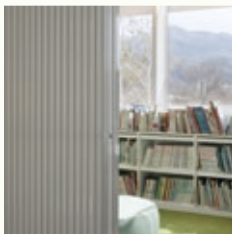
代表取締役 富塚 典孝

〒321-0104 栃木県宇都宮市台新田1-14-4

☎ 028-658-6121(代)

fax : 028-659-8982

<http://www.bikodenki.com/>



静かな学び・仕事の空間を —

除湿型放射冷暖房 PS HR-C

川場村むらの学習館はこどもから大人まで、幅広い村民の学習・リモートワークのための施設です。無音・無風・無振動のPS HR-Cは静謐さを必要とする空間に、快適な環境を提供します。



ピーエス工業株式会社

Tel : 03-3485-8189 Mail : info@psk.co.jp

川場村むらの学習館

小松ウオール

新時代の
スティールパーティション。

いつの時代も、大自然の生み出す圧倒的な美は、
人間の心を揺さぶり、惹きつける。
想像を遙かに超えた造形や色彩は、
見るものを魅了し、時に大きな安らぎを与える。
「STEERA スティール」は、
そんな大自然にインスパイアされた意匠を持つ
スティールパーティション。
偉大なる自然が創造した世界を、
間近に感じさせる、上質な空間を出現させる。
それが、「STEERA スティール」。

STE
ERA

STEERAについて
詳しくはこちら

小松ウオール工業株式会社

本 社/石川県小松市工業団地1-72 TEL: (0761)21-3131 (代)
宇都宮支店/宇都宮市馬場通り1-1-11 TEL: (028)612-2591 (代)



日成ビルド工業のシステム建築
日成Vスパンとは？

大空間 最大無柱妻行スパン40m[※]を実現いたします。
※種別やその他の条件により異なります。

短工期 十分な品質・工程管理のもと品質が均一化した商品を提供することが可能です。

均一化 規格化された部材を工場生産し現地で組み立てるので、一般建築に比べ工期が短く済みます。

倉庫 様々なお客様に様々な用途でご利用いただいております！

20m×33m=660m²

物流センター 41m×48m=1,968m²

物流センター内観

スポーツ施設 17m×28m=476m²

スポーツ施設内観

日成ビルド工業株式会社
<https://www.nisseibuild.co.jp/>

栃木営業所 まずはお気軽にご相談ください
〒323-0813 栃木県小山市横倉 597
☎: 0285-31-5088






試験・調査

ラボックス

総合試験・調査・品質管理・コンサルタント
株式会社ラボックス
〒327-0831 栃木県佐野市浅沼町450-2



TEL **0283-25-8398**
mail office@raboxgroup.com

ラボックス コンクリート 検索
<https://raboxgroup.net/>



次代の時代へ → 提案力 + 施工力

次代への **プラス** がここにあります。

一般社団法人
栃木県建築士事務所協会の皆様と共に歩む...

営業品目

■建築・住宅資材関連 ■土木・基礎構造材関連 ■省エネ・環境・セキュリティ関連
■リニューアル関連 ■外装リフォーム関連

東証スタンダード

URL <http://www.fujii.co.jp/>

藤井産業株式会社

本社: 宇都宮市平出工業団地41番地3 TEL 028-662-6077
東北支店・水戸支店・つくば支店・東京支店・千葉支店



建築塗装工事
鋼橋塗装工事



防水工事
交通安全施設工事

根本塗装株式会社

代表取締役 根本和典

宇都宮市大通り2丁目3番16号
TEL (028) 634-6221(代) FAX (028) 633-3450
E-mail nemoto@peach.ocn.ne.jp



～未来に向かって・創造・貢献・前進！～

栃木県木材業協同組合連合会

理事長 東 泉 清 寿

〒321-2118 栃木県宇都宮市新里町丁277番地1
TEL: 028-652-3687 FAX: 028-652-1046
URL: <http://www.tochiginoki.com>

生コンクリート製造販売、高強度コンクリート大臣認定工場 MCON-3459、3460
骨材、砕石、砂利、骨材(RC)再生骨材、地盤改良(タフロック)

《営業地域》栃木県及び関東地区

《営業科目》生コンクリート

菊一生コン株式会社

代表取締役社長 菊地 伸克

本社 〒321-0913 宇都宮市上桑島町2100 TEL 028-656-6075 FAX 028-656-8038
E-mail: kikuichinamakon@indigo.plala.or.jp



総合設備工事業・省エネ事業「ESCO那須」

since 1949

株式会社 伊藤電設

〒324-0041

本社／栃木県大田原市本町1丁目2799番地1

TEL 0287-22-4111・FAX 0287-23-7396/e-mail: itohdensetu@athena.ocn.ne.jp

～顧客のニーズに応え、安心と信頼を提供します～



株式会社フケタ設計

代表取締役社長 三柴 富男

本社／栃木県宇都宮市大曾1-5-8 TEL.028-622-8928(代) FAX.028-622-0850

栃木、茨城、群馬、さいたま、東京、千葉

HP <http://www.fuketa.com> E-MAIL info@fuketa.com



鉄筋工事で地域社会に貢献する

株式会社 カネダ



栃木県鉄筋工事業協会会員

代表取締役 金田 剛

〒321-0404 栃木県宇都宮市芦沼町字湯殿神社前3827番地
TEL (028) 674-1558(代) FAX (028) 674-1557
E-mail: tetukinn@hyper.ocn.ne.jp

経産省

補助金で改修費もCO₂も削減

国交省

～省エネ投資需要構造転換補助金～

既設設備にて油やガスを熱源とする設備(空調・給湯・他)を高効率の電気設備へ転換し、省エネ省CO₂を実施します。

●対象施設 事務所、病院、高齢者施設、工場 他

●対象設備 高効率空調機、業務用ヒートポンプ給湯器、高性能ボイラ



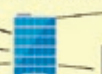
1/2以内補助

～既存建築物省エネ化補助金～

老朽化した既存建築物の設備機器を高機能換気設備、高効率空調設備、LED照明器具、省エネガラス・省エネフィルムなどへ改修した場合の省エネ省CO₂補助金であります。

●対象施設 事務所、病院、高齢者施設 他

●対象設備 高効率設備(空調、LED照明、給湯、換気)への改修、躯体改修



1/3以内補助

当協会は一般社団法人の非営利団体であり、補助金の普及活動を目的としているため、現地調査からご提案、公募申請書作成、他事務を全て無償でお手伝いさせていただきます。



一般社団法人
東北再生可能エネルギー協会

【本 部】 仙台市青葉区花京院1丁目4-25シティタワー仙台703
【栃木支部】 宇都宮市若草3-17-8
福島支部・青森支部・岩手支部・山形支部・関東支部

TEL 022-794-7040
TEL 028-666-8970



次の生き方をつくろう。

丸山工業株式会社

総合建設業

建築施工管理・注文住宅・リフォーム・不動産

【宇都宮本社】

〒320-0851 栃木県宇都宮市鶴田町 1960
TEL : 028-648-2920 FAX : 028-648-6213
<https://www.maruyama-k.com/>
E-Mail : info@maruyama-k.com

【那須烏山店】

〒321-0624 栃木県那須烏山市旭 1-21-10
TEL : 0287-82-2212 FAX : 0287-82-0070

【大田原店】

〒324-0041 栃木県大田原市本町 1-2703-144
TEL : 0287-47-6077 FAX : 0287-47-6073

建築・土木総合資材に信頼と奉仕を



株式会社 佐 山

〒328-0024 栃木市樋ノ口町66番地1



建材部 TEL (0282) 23-1381 / FAX (0282) 23-1457
E-mail: info@kk-sayama.co.jp
〈日本金属工事業協同組合員〉

鉄筋部 TEL (0282) 22-3081 / FAX (0282) 22-3070
E-mail: info@sayama-tk.jp
〈栃木県鉄筋工事業協会会員〉

ビジネスソリューションカンパニーとして お客様の問題解決の道を照らします

栃木キヤノン事務機販売株式会社

<https://www.t-canon.co.jp>

〒321-0111 宇都宮市川田町780-6 TEL 028-633-5400



空調 給排水 衛生 電気工事 太陽光発電 設計・施工・メンテナンス



明るい笑顔、そして未来へ。

日神工業株式会社

代表取締役 神宮 厚

本社 宇都宮市東塙田2丁目8番41号 TEL 028-627-7571 (代) FAX 028-625-9868
支店・営業所 両毛・栃木・真岡・下野・大田原・東京・鹿沼・砥上

歴史・誇り・品質・技術・安全



鉄筋ガス圧接/エンクローズ溶接/養生クリーニング



株式会社 大場工業

代表取締役 波多野 健壽

〒321-0943 栃木県宇都宮市峰町570-1
TEL.028-634-6560 (圧接)
FAX.028-635-0928
E-mail: obakogyo@wonder.ocn.ne.jp
<https://oba-kogyo.co.jp>

(公社)日本鉄筋継手協会正会員
A級継手圧接施工会社認定 JRJI-A圧-105
優良圧接会社認定 JRJI-優圧-089
CB工法協会会員 R-106

総合建設資材取扱商社



高田産商株式会社

代表取締役社長 沼田重一

白河営業本部 / 〒961-0831 福島県白河市老久保126-1
TEL 0248-27-8800(代) FAX 0248-27-2923

本社・工場 / 〒963-6131 福島県東白川郡棚倉町棚倉中居野96-1
TEL 0247-33-3101(代) FAX 0247-33-2142

いわき営業所 / 〒973-8402 福島県いわき市内郷御厩町3丁目68
TEL 0246-38-8831(代) FAX 0246-38-8832

郡山営業所 / 〒963-8863 福島県郡山市菜根屋敷60-12
TEL 024-973-6394(代) FAX 024-973-6392

一級建築士事務所



代表取締役 湯澤 敦史

<https://www.yuzawa-arch.com>

栃木県宇都宮市駒生町1837-3 Phone : 028-652-0137 e-mail : yuzawa-arch@royal.ocn.ne.jp

(一社)栃木県建築士事務所協会

〒320-0032 宇都宮市昭和二丁目5番26号
TEL. 028-621-3954 FAX. 028-627-2364
E-mail : info@tkjk.or.jp

正会員・賛助会員募集中

正会員 特典

建築士事務所賠償責任保険

補償拡大で、お得な割引を受けられます。

2025年4月法改正対応、支払限度額の引上あり。

詳しくは、(有)日事連サービスのHPをご参照ください▶



正会員・賛助会員 共通特典

責任と信頼で、業界や社会に貢献。

人脈が広がり、最新情報をすぐにキャッチ。

入会金無料キャンペーン中！

お問い合わせをお待ちしております▶



栃木県版

けしじ

とちぎ県の設計事務所の情報を発信！

Instagram
はじめました！
建設関連企業情報も
投稿中！

2024年版

Instagramをフォローして
他の企業の情報もチェック！

あなたのヒラメキ
を創造します

MATSUI
PTO
INSATSU

「こんなチラシをつくりたい。」
「あんなパンフレットがでたらいいのに。」
そのヒラメキを是非私どもにお教ください。
紙媒体、映像、ホームページ作成。
あなたの想いを創造するお手伝いをいたします。

株式会社 松井ピ・テ・オ・印刷

本社/〒321-0904 栃木県宇都宮市陽東五丁目9番21号
phone.028(662)2511(代) fax.028(662)4278
URL:<https://www.pto.co.jp/pto/> E-mail:s@pto.co.jp

合格実績No.1スクールで令和8年度の合格をつかもう!!

令和8年度 1・2級 建築士講座 受講生募集中

1級建築士 10/8 水
学科合格必勝コース 10/12 日

2級建築士 11/5 水
学科合格必勝コース 11/9 日



▼詳細は宇都宮校まで! お気軽にお問合せ下さい▼

栃木県
合格実績
1級建築士
No.1

令和6年度 1級建築士 学科+設計製図試験
栃木県ストレート合格者占有率

75.0%

栃木県ストレート合格者 8名中 / 当学院当年度受講生 6名

令和6年度 1級建築士 設計製図試験
栃木県合格者占有率

66.7%

栃木県合格者 24名中 / 当学院当年度受講生 16名

★学科・製図ストレート合格者とは、令和6年度1級建築士学科試験に合格し、令和6年度1級建築士設計製図試験にストレートで合格した方です。 ※当学院のNo.1に関する表示は、公正取引委員会「No.1表示に関する実態調査報告書」に基づき掲載しております。
※都道府県ストレート合格者数・都道府県合格者数は、(公財)建築技術教育普及センター発表に基づきます。 ※総合資格学院の合格実績には、模擬試験のみの受験生、教材購入者、無料の役務提供者、過去受講生は一切含まれておりません。(令和7年1月15日現在)

総合資格学院

www.shikaku.co.jp 総合資格 | 検索
X ⇒ @shikaku_sogo | LINE ⇒ 「総合資格学院」
Instagram ⇒ 「sogoshikaku_official」で検索!



宇都宮校

小山校

TEL.028-614-4881

栃木県宇都宮市池上町4-2 アソルティ宇都宮 8F

※お問い合わせは**宇都宮校**まで
栃木県小山市城山町2-5-5 サンリッチタワー 3F



栃木建設新聞

栃木県の

毎朝 10分¹⁵で
建設情報に
強くなれる



県内の公共工事・入札情報を朝一番でポストにお届けします

✓ 公共工事情報

県内の建設計画や工
事情報をいち早くお
伝えます。



✓ 入札情報

入札結果・予定・公
告情報を最短で翌日
に掲載します。



✓ 最新業界情報

建設関係団体の事業
活動、企業の取り組
みを網羅。



新聞名が 2024 年 4 月 1 日から新しくなりました

1 カ月
お試し
無料

栃木建設新聞
火曜日～土曜日発行

1 カ月
(税込)
8,100 円

(原則として半年ごとのご契約となります。6 カ月契約=48,600 円 (消費税込) 1 年契約=97,200 円 (消費税込))

※軽減税率 8% の対象商品です。

株式会社 日本工業経済新聞社

宇都宮市築瀬町 1 9 5 8 - 1 栃木県建設産業会館 1 階

営業時間 平日 9 時～18 時

☎028-634-0141

📠028-634-0045



HPはこちら





発行所

一般
社団法人 栃木県建築士事務所協会

会長 山崎 良知

〒320-0032 宇都宮市昭和二丁目5番26号
TEL 028(621)3954 FAX 028(627)2364
HP : <https://www.tkjk.or.jp/> E-mail : info@tkjk.or.jp